乗鞍岳エコツーリズム推進全体構想

岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会

目次

1.　エコツーリズムを推進する地域 1

1.1 推進の目的と方針 1

1.2 推進する地域 3

2.　エコツーリズムの対象となる自然観光資源等 4

2.1 自然観光資源 4

2.2 その他の観光資源の名称と所在地など 30

3.　エコツーリズムの実施方法 33

3.1 ルール 33

3.2 案内（ガイダンス）及びプログラム 40

3.3 モニタリング及び評価 43

3.4 その他 46

4.　自然観光資源の保護及び育成 49

4.1 利用の制限が必要な自然観光資源（特定自然観光資源）の指定について 49

4.2 その他の自然観光資源の保護及び育成 49

4.3 自然観光資源に関係する主な法令及び計画など 50

5.　推進協議会の参加主体 51

6.　その他　乗鞍岳エコツーリズムの推進に必要な事項 53

6.1 環境教育の場としての活用と普及啓発 53

6.2 他の法令や計画等との関係及び整合 54

6.3 農林水産業や土地の所有者等との連携及び調和 60

6.4 地域振興への貢献 60

6.5 地域の生活や習わしへの配慮 61

6.6 安全管理 61

6.7 活動の拠点となる施設の活用 62

6.8 県域を越えた広域的な連携 62

6.9 全体構想の公表・見直し 62

1.エコツーリズムを推進する地域

1.1　推進の目的と方針

(1) 推進の背景と目的

乗鞍岳は、いにしえより、心のよりどころや信仰の山として、近代では地域産業の柱として、地域住民の生活に大きな影響を与える山であり、岐阜県及び高山市における山岳観光、自然環境教育の場として欠くことのできないシンボル的存在です。

乗鞍スカイラインがマイカーで通行できた当時は、多くの観光客が訪れ、雲上銀座としての賑わいを見せる代表的な山岳観光地として、地域経済の活性化に大きく寄与していましたが、その反面、高山植物やライチョウなどの貴重な動植物の生育生息環境を脅かし、自然環境の悪化を生み出す一因ともなりました。

マイカー規制開始以降は、高山植物やライチョウの生息環境が回復されているといわれる一方、人口減少や高齢化の進展、急速に進展する情報化や高速交通網、日本国民の趣向や旅行動態の変化などの外的な影響なども受け、来訪者は年々減少し、周辺地域のにぎわいの喪失が危惧されています。

上記のような状況を踏まえ、今一度、乗鞍の魅力を見直し、乗鞍岳の自然環境の保全と適正な利用による持続可能な活性化を図るため、関係者間での集中的な議論や情報共有を行い、エコツーリズムの推進を通じて、乗鞍岳が自然環境保全の取り組みのもと、観光・体験・保養・学習・研究などを総合的に楽しむことができる唯一無二の山岳体験エリアとしての魅力を向上していくことを目指します。また、高山市街地を含む周辺地域と一体となった楽しみ方の提供も進め、高山市全体の活性化にもつなげていきます。

(2) 現状と課題

乗鞍岳は、乗鞍スカイラインなどにより、誰でも手軽に標高 2,702ｍの畳平を拠点として大自然を体感できる山岳観光地です。また、周辺地域も含め、自然環境、歴史文化の面でも多様な魅力を有しています。乗鞍岳周辺における現状と課題について以下に示します。

【現状】

- 乗鞍岳は、広く国立公園に指定されており、マイカー規制や環境保全税の徴収などの自然環境保全に関する取り組みを推進し、自然環境を回復した先進地といえる
- 関係者によって乗鞍岳の魅力発信に努めているものの、多様な魅力を有する山としての認知度は地元も含め決して高いとは言えず、来訪者の増加やブランド力の向上につながっていない
- 乗鞍岳は山岳観光地としての魅力にとどまらず、登山や自転車、夏山スキーなどのアクティビティ、高山植物やライチョウなどの自然観察の場、様々な研究活動、歴史文化や信仰、子供たちの自然環境学習の場など、多様な魅力を有した特徴的な山であり、様々な楽しみ方を提供できる可能性を有している
- 乗鞍山麓五色ヶ原の森において、国内でも先進的なエコツーリズムの取り組みが行われているほか、丹生川町地内や奥飛騨温泉郷地内の各地においてもエコツーリズムが活発化しており、さらに、（一財）飛騨山脈ジオパーク推進協会によるジオツアーの取り組みも進められるなど、エコツーリズムを推進する体制が整いつつある

【課題】

- 乗鞍岳の認知度向上と特徴を活かしたブランド力の向上
- 地域住民の暮らしに深くかかわってきた乗鞍岳に関わる文化や歴史の理解促進と継承
- 乗鞍岳及び周辺地域の地域資源を活かした魅力づくり
- 多様化するニーズや観光の形態への対応

(3) 基本的な推進方針

乗鞍ブランドを構築し、将来へ継承していくことができるよう、未来を担う子どもから大人まで、今一度乗鞍岳に関する知識や理解を深め、これまでの関係者の努力により自然環境の回復を実現した場所であるという価値も大切にしつつ、どのように乗鞍を守り活かしていくかを共に学び考え、語り合いながら、乗鞍に関する情報を共有し、自然保護のルール作りなどを通じて、内外に誇れる乗鞍の姿を創造していきます。

■基本方針

① 乗鞍岳における自然環境や多様な魅力を発信し、活性化につなげる

② 乗鞍岳及び周辺地域の地域資源、歴史文化等を活かしたエコツーリズムを推進する

③ 地域住民の乗鞍岳への理解を深め、次世代に守り育てる

■推進体制

岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会を主体として、事業者、ガイド、有識者、地域住民、行政が関わる体制で推進していきます。

また、推進にあたっては、「中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会」、「（一財）飛騨山脈ジオパーク推進協会」などとも協働していきます。

1.2　推進する地域

本構想を推進する地域は高山市全域とし、乗鞍岳一帯コアエリア（以下「コアエリア」という。）については、主に乗鞍岳の山麓一体及び乗鞍火山の影響を受けている範囲（乗鞍山麓五色ヶ原の森、平湯地内、千町尾根など）とします。

また、エコツーリズムを進めていくため、コアエリア外の周辺地域（奥飛騨温泉郷・上宝エリア、丹生川エリア、朝日・高根エリア）の観光資源についても、特に主要なものを選定し、本構想に記載しています。

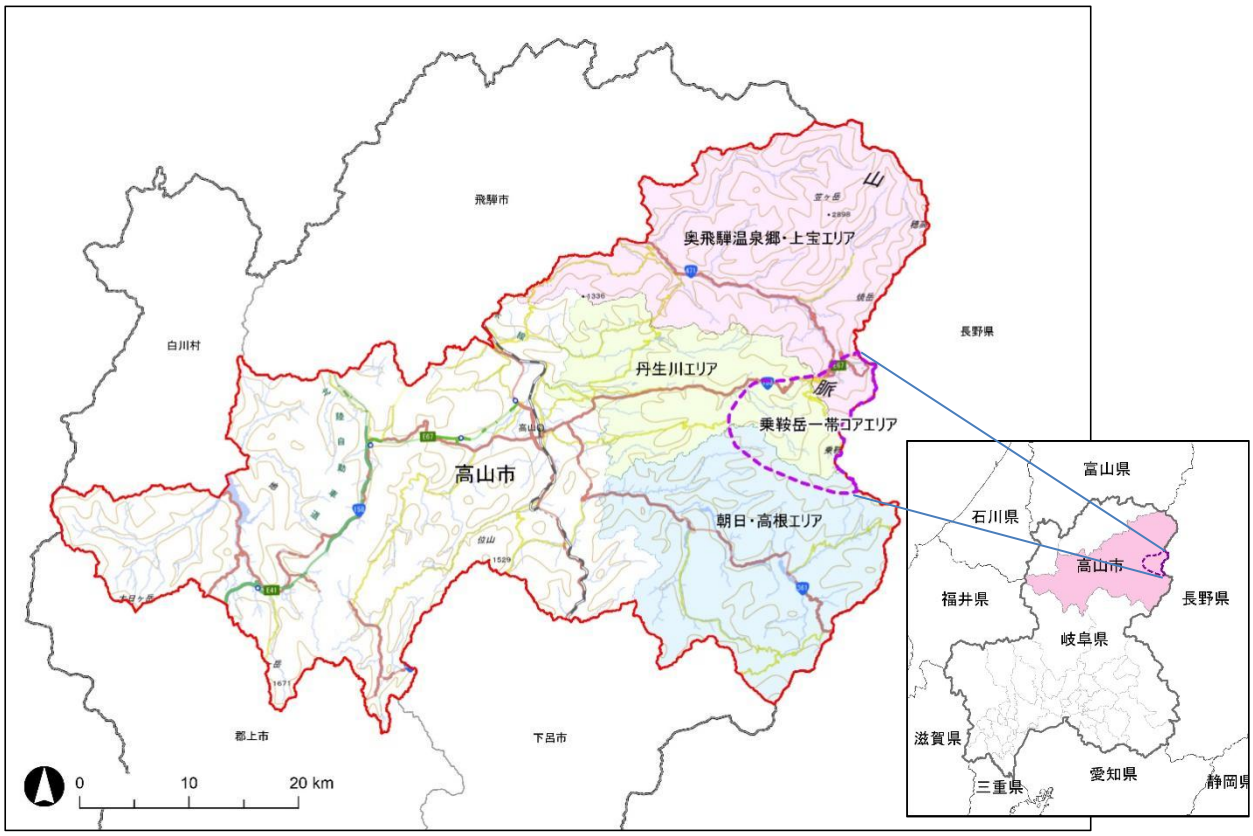

図　乗鞍岳エコツーリズムを推進する地域

2.エコツーリズムの対象となる自然観光資源等

2.1　自然観光資源

中部山岳国立公園に位置する乗鞍岳周辺は雄大な山岳景観、高山植物などの貴重な自然や豊富な温泉といった豊かな自然環境に恵まれ、乗鞍スカイラインなどにより、誰でも手軽にその豊かな自然観光資源を満喫することができます。また、約５億年前から現在に至る様々な地層が見られる地質の宝庫であり、地球の生い立ちを学ぶことのできる全国でも数少ない地域です。さらに、乗鞍岳開山の歴史、乗鞍岳における登山道路建設や宇宙観測の歴史など、周辺地域も含め歴史文化の面でも多様な魅力を有しています。

これらの資源に対して、乗鞍岳山麓に暮らす人々、ひいては高山市民全体がその価値を認識し、担い手である地域住民が誇りをもって暮らし魅力を語れることも、エコツーリズムを推進する意義の一つと言えます。

このような視点も踏まえ、乗鞍岳エコツーリズムの対象となる主な自然観光資源を以下の通り区分して示します。

【自然観光資源の区分と対象】

区分	対象	
動植物の生息地または生育地その他の自然環境に係るもの	動物	哺乳類、鳥類、両生類、昆虫類、貝類
	植物	高山植物、高山植生
	動植物の生息地・生育地	高山植生、湿原、高原
	地形・地質	山岳・火山地形、河川・渓谷、滝、湖沼、雪渓、洞窟、化石
	自然現象	気象
	自然景観	山岳景観、天文
自然環境と密接な関係を有する風俗習慣その他伝統的な生活文化に係るもの	歴史文化	山岳信仰、寺社仏閣、史跡、生活文化、登山文化、伝統行事、人物、伝承
	産業資源	乗鞍スカイライン、温泉、研究施設、登山道、山小屋、砂防

自然観光資源は、エコツーリズムを推進するコアエリア及び周辺地域（奥飛騨温泉郷・上宝地区、丹生川地区、朝日・高根地区）について記載します。

それぞれの自然観光資源に関する情報（周辺環境の特性、野生動物の生息・生育場所、利用の概況等）については、今後も収集を進めていきます。ただし、希少種などに関する生息・生育場所の情報については、攪乱（かくらん）や密猟・盗掘などの防止のため、原則として本構想では記載しません。

なお、各自然観光資源について、その保全や継承に支障が生じる可能性があるものについては、特定自然観光資源への指定を検討します。

（1）動植物の生息地または生育地その他の自然環境に係るもの

区分	動物
細区分	哺乳類
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳およびその一帯には特別天然記念物のニホンカモシカをはじめ、ツキノワグマ、ノウサギ、オコジョ、リス、モモンガなどの哺乳類が生息しています。クビワコウモリは本州中部から関東の限定的な地域にのみ生息する絶滅危惧種で、乗鞍岳周辺で確認されています。 ツキノワグマ
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	ニホンカモシカ等の哺乳類を観察する場合には、生息環境を悪化させないように配慮する必要があります。 乗鞍岳はクマの生息域であり、クマを見つけた場合には、人身被害を防ぐために次のような注意が必要です。①100m以上距離を保つ②慌てない③騒がない④子熊に近づかない。クマとの適正距離を保つため、鈴・ラジオを携帯することが大切です。また、「乗鞍畳平におけるクマ等対策方針」が取り決められています。

区分	動物
細区分	鳥類
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳には、ライチョウ、イワヒバリ、カヤクグリ、ホシガラスなどの高山性の鳥類が生息しています。特にライチョウは、国の特別天然記念物で岐阜県の県鳥にもなっており、岐阜県では乗鞍岳などの飛騨山脈（北アルプス）や御嶽山に生息しています。ハイマツの広がる高山帯が主な生息域で、乗鞍岳一帯には 150 羽ほどが生息すると推定されています。 ライチョウ
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	アクセスが容易な乗鞍岳は高山性の鳥類を観察しやすく、ライチョウなどを観察・解説するエコツアーも開催されています。 しかし、観察等によるライチョウへの接近は、過剰となりすぎることで繁殖活動等に悪影響を及ぼすおそれがあります。観察するルールとして、決められた道を歩く、そっと見守る、5m以上の距離を取る、ストレスを与えないように注意する等の配慮が必要です。

区分	動物
細区分	両生類
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	ヒダサンショウウオ、クロサンショウウオ、ハコネサンショウウオなどが生息しています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	珍しい両生類は採集される可能性があることから、生息情報を管理することが必要です。生息環境を悪化させないように、むやみに生息場所である沢に立ち入らない等の配慮が必要です。

区分	動物
細区分	昆虫類
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	高山性のチョウ類としてミヤマモンキチョウ、クモマベニヒカゲなどが生息しています。クジャクチョウは畳平などのお花畑で7月中旬ごろからよく見られます。また、高山性のガ類としてクモマウスグロヤガなどが、高山性のトンボとして、ムツアカネなどが生息しています。 クモマベニヒカゲ
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	珍しい、美しい昆虫類は採集される可能性があることから、生息情報を管理することが必要です。観察する際には食草の踏み荒らし等で生息環境を悪化させないよう、十分に配慮する必要があります。

区分	動物
細区分	貝類
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳の一部の池沼では、亜高山帯の湿原や池沼に生息する淡水産二枚貝であるハイイロマメシジミが生息しています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	生息環境を悪化させないように配慮する必要があります。

区分	植物
細区分	高山植物
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳では7、8月にはコマクサをはじめ、コイワカガミ、キバナシャクナゲ、ミヤマキンバイ、シナノキンバイ、クロユリ、イワギキョウ、ヨツバシオガマなど多数の高山植物がお花畑を作ります。特に魔王岳などの風衝地、大黒岳や富士見岳登り口等のコマクサ群落が見どころです。秋にはコケモモ、ダケカンバ、チングルマ、ナナカマド、カラマツ、モミジ類などの紅葉が見事です。 コマクサ
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	飛騨山脈（北アルプス）では、盗掘や、登山道外への踏み込みによる植生の衰退がみられます。飛騨山脈の登山では、高山植物の踏み荒らし等を防ぐため、登山マナーとして、登山道や木道外に立ち入らない、高山植物は取らない等の配慮が必要です。 また、乗鞍美化の会などが外来種対策（セイヨウタンポポの除去ボランティア事業等）を行っています。

区分	動植物の生息地・生育地
細区分	高山植生（高山植物群落）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○畳平のお花畑 クロユリ、ハクサンイチゲ、キバナシャクナゲ、ヨツバシオガマ、アオノツガザクラ、トウヤクリンドウなど 30 種以上の高山植物が生育しています。木道が整備され、比較的容易に観察することができます。 畳平のお花畑
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	畳平のお花畑には 1 周 30 分、1,400ｍの木道（遊歩道）が整備されています。7、8 月には乗鞍自然観察指導員による観察教室が開かれています。 踏み荒らし等を防ぐため、決められたルートを歩き、立ち入り禁止区域に入らない等の配慮が必要です。

区分	動植物の生息地・生育地
細区分	高山植生（ハイマツ群落）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	桔梗ヶ原や位ヶ原は世界有数規模のハイマツ帯です。 桔梗ヶ原のハイマツ帯
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	桔梗ヶ原は乗鞍スカイラインのバスの車窓からも見ることができます。 踏み荒らし等を防ぐため、決められたルートを歩き、立ち入り禁止区域に入らない等の配慮が必要です。

区分	動植物の生息地・生育地
細区分	亜高山帯植生（ブナ、ミズナラ、コメツガ、シラビソなどの原生林）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○乗鞍山麓五色ヶ原の森 乗鞍山麓の約 3,000 ヘクタールの広大な森林地帯で山地帯から亜高山帯の植生分布となっており、ブナ・ミズナラ・サワグルミなどの広葉樹林やシラビソ・オオシラビソ・コメツガなどの針葉樹林が手つかずのまま残されています。森林の中には渓流、滝、池、湿原などの多様な自然環境もあり、様々な野生動物や野鳥、昆虫が生息し、四季折々の表情がみられます。特徴の違う 3 つのコースがあり、ガイド付きでのみ入山することができます。 五色ヶ原・久手御越滝 ○平湯自然探勝路 約 2kmにわたって原生林の中を歩くことができる自然探勝路です。森の中は雪のない季節に自然を観察するには絶好のフィールドで、雪解けの春には、キランソウやフデリンドウなどの鮮やかな植物が

	姿を現し、夏にかけて森は一段と活気づきます。秋には 10 種類近くあるカエデの紅葉を楽しむことができます。平湯キャンプ場周辺は少し険しい道となりますが、森の巨人たち 100 選に選ばれているクロベの大木「平湯大ネズコ」を見ることができます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	○乗鞍山麓五色ヶ原の森 利用にはガイド付きの入山許可が必要で、一般の立ち入りが禁止され、入山者数の制限が行われています。自然環境に無理のない遊歩道に最低限の休養・避難施設を整備し、自然の保全と利用の両立が図られています。ガイド案内では、乗鞍山麓五色ヶ原の森の動植物・地形・地質などや、自然の過去・現在・未来への展望など、また昔からの周辺地域と人のかかわり合いなどについて、現場で正しく理解できるよう、きめ細かいガイドによって、利用者の理解を深めています。 利用方針については、「多様な活動の森における保護、管理及び利用に関する協定書」「高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森の設置及び管理に関する条例」によって定められています。 また、飛騨山脈ジオパーク構想のジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。 ○平湯自然探勝路 探勝路へは平湯バスターミナル、ひらゆの森、平湯キャンプ場近くの入口から入ることができます。探勝路は 3 カ所にあずま屋が設けられ、分岐点には案内板が設置されています。探勝路内はほとんど平坦ですが、一部急な階段があるので注意が必要です。踏み荒らし等を防ぐため、決められたルートを歩き、立ち入り禁止区域に入らない等の配慮が必要です。

区分	動植物の生息地・生育地
細区分	亜高山帯植生（レンゲツツジ群落・草原性植物群落）
所在地	朝日・高根エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	子ノ原高原には、かつては放牧場として利用されていた草原に、レンゲツツジの群落が一面に広がっています。 レンゲツツジ以外には、所々にワラビ草原がよく発達し、ベニバナイチヤクソウ、コバイケイソウ、ヤナギランなど草原性の植物が見られます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	高山市の天然記念物に指定されています。踏み荒らし等を防ぐため、決められたルートを歩き、立ち入り禁止区域に入らない等の配慮が必要です。

区分	動植物の生息地・生育地
細区分	湿原
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	安房湿原は、安房峠に広がる湿原です。 標高 1,600ｍの湿原は周りを樹林帯に囲まれ高木が侵入できていないため、独特の植生を作り上げています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	湿原の中までは入れませんが入口までは行くことができます。踏み荒らし等を防ぐため、決められたルートを歩き、立ち入り禁止区域に入らない等の配慮が必要です。飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（乗鞍岳の峰々）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	 剣ヶ峰を中心とした標高 2,500m 以上の 23 の峰々と、長大な尾根を持ち、山域面積はおよそ 250 平方キロメートルで独立峰としては広大なスケールです。 〇十石山（じゅっこくやま、又はじっこくやま） 標高 2,524m。乗鞍火山群最古の山と言われ、円空上人が仏像を安置したと伝えられています。 〇大崩山（おおくえやま、又はおおくずれやま） 標高 2,523m。猫岳の北隣。昔、平湯地域に住む人たちから「西ケ谷の頭」と呼ばれていました。 〇猫岳（ねこだけ） 標高 2,581m。山腹の神苗代（かみなわしろ）という泥池の近くに猫が跨るような形をした「猫石（ねこいし）」という岩があったことから、猫岳と名付けられたと言われています。上部は森林限界の境になっています。 〇硫黄岳（いおうだけ） 標高 2,554m。硫黄の匂いがすることから名付けられたと言われています。 〇四ツ岳（よつだけ） 標高 2,744m。昔、安場岳と呼ばれていましたが、山のピークが四つあることから、「四ツ岳」の別称があり、現在では別称の「四ツ岳」が正式名称になっています。 〇烏帽子岳（えぼしだけ） 標高 2,692m。烏帽子のように山嶺が鋭くとがっています。昔、魔王岳の別名がありました。 〇大丹生岳（おおにゅうだけ） 標高 2,698m。大丹生池の上部に位置することから、「大丹生岳」と呼ばれています。 〇大黒岳（だいこくだけ） 標高 2,772m。畳平から気軽に登れます。大黒岳には風を避けられる小屋があり、ご来光を見る格好の場所となっています。北アルプス方面の眺望が見事です。 〇恵比須岳（えびすだけ） 標高 2,831m。恵比寿岳の下部には、火口でできた亀ヶ池があります。 〇魔王岳（まおうだけ） 標高 2,763m。畳平から気軽に登れます。山頂近くまで階段が整備され、子供連れでも登山可能です。山頂からは北アルプス方面の眺望が見事です。 〇富士見岳（ふじみだけ） 標高 2,817m。槍・穂高連峰の眺望がとてもよいピークです。昔、別名「摩利支天」と呼ばれていました。富士の秀峰が見えることから「富士見岳」と付けられたと言われます。富士見岳の南麓には乗鞍火山の土台にあたる海の底で堆積した美濃帯起源のチャートの礫

	が点在しています。 〇里見岳（さとみだけ） 標高 2,824m。山頂から北西に広がる人々の暮らしが見える場所であることから、「里見岳」と名づけられたと言われています。 〇不動岳（ふどうだけ） 標高 2,875m。山頂にある岩は不動岩と言われ、垂直に切り立った珍しい岩で、かつてはロッククライミングが行われていました。 〇摩利支天岳（まりしてんだけ） 標高 2,873m。円空上人が開山し山名を付けたと言われています。 〇雪山岳（ゆきやまだけ） 標高 2,890m。昔、釈迦がいた山だと言われています。 〇朝日岳（あさひだけ） 標高 2,975m。昔、木喰上人が修法したと言われています。 〇蚕玉岳（こだまだけ） 標高 2,979m。米、豆などに似た砂礫が一面に広がっています。登山道があります。 〇水分岳（みくまりだけ） 標高 2,896m。昔、水の神様がいた山だったことから、「水分岳」と名づけられたと言われています。 〇剣ヶ峰（けんがみね） 標高 3,026m。別名「権現岳」とも呼ばれる乗鞍岳の最高峰で、多くの登山者がピークを目指します。直下には、コバルトブルーのハート形を描く権現池を見ることができます。山頂に頂上小屋、一等三角点、朝日権現社、乗鞍本宮奥社の 2 つの神社があります。 〇大日岳（だいにちだけ） 標高 3,014m。乗鞍岳の中で 2 番目に高い山です。山頂から少し下りたところに「天岩屋（あまのいわや）」と呼ばれる洞窟があり、昔、木喰上人がこの洞窟で修法したと言われています。 〇薬師岳（やくしだけ） 標高 2,950m。屏風岳の西に位置しています。 〇屏風岳（びょうぶだけ） 標高 2,968m。山頂付近に屏風を広げたように岩壁が垂直に立っていることから、「屏風岳」と名づけられたと言われています。 〇高天ヶ原（たかまがはら） 標高 2,829m。アスピーテ（盾状火山）の山で、奈良の三笠山や山形県の月山のように頂上が平らになっているのが特徴です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	剣ヶ峰登山などの各種登山ツアー、畳平周辺でのミニツアーガイドや、星の観察会、乗鞍岳探検ゲームなどの企画イベントが行われています。登山道は決められたルートを歩き、立ち入り禁止区域に入らない等の配慮が必要です。乗鞍岳は 500 年以上噴火活動が無いものの、活火山であるため気象庁の火山情報に留意する必要があります。また、登山の際には登山届の提出が義務付けられています。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（乗鞍火山）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳は四ツ岳火山体をはじめ、鶴ヶ池火山体、摩利支天火山体、一ノ池火山体など、数個の火山体が重なり連なった集合火山体です。コニーデ（円錐状の成層火山）の性格がはっきり表れているのが特徴で、火山としては御嶽山に次ぐ日本アルプス屈指の高峰です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	登山道は決められたルートを歩き、立ち入り禁止区域に入らない等の配慮が必要です。乗鞍岳は 500 年以上噴火活動が無いものの、活火山であるため気象庁の火山情報には留意する必要があります。また、登山の際には登山届の提出が義務付けられています。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（構造土（亀甲砂礫））
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	構造土は、地表に見られる幾何学模様で、一般的には、周氷河地域で凍結融解作用によって形成されたものを指します。日本で初めて氷河周辺地形の構造土（亀甲砂礫）が発見されたのが乗鞍岳の亀ヶ池周辺です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	現在ではこれまでの踏圧によって一部に残っているのみであり、遊歩道外を歩かないよう指導が必要です。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（焼岳火山群）
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	焼岳火山群は飛騨山脈（北アルプス）で唯一噴煙を上げ続ける焼岳を中心とする火山群で、新旧二つのグループからなる火山の集合体です。奥飛騨温泉郷に豊富な温泉をもたらしている一方で、噴火活動にともなう災害が危惧されています。地元では噴火を想定した避難訓練が定期的に行われています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	現在も火山活動が続いている活火山であり、登山の際には気象庁の火山情報に留意し、登山道は決められたルートを歩き、立ち入り禁止区域に入らない等の配慮が必要です。また、登山の際には登山届の提出が義務付けられています。飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（上宝火山地形・地質）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	奥飛騨温泉郷福地周辺で 64 万年前に起きた上宝火山の大噴火によって形成された地形・地質です。 〇福地壁 奥飛騨温泉郷福地にある福地壁は、上宝火山の大噴火による火砕流堆積物が谷の侵食によって削られ、火砕流堆積物の節理面が露出し、直立し連続する岩壁が形成されたものです。 冬になると壁面に染み出す水が結氷し、青氷となって遠くから眺められます。地元ではこれを「青だる」と呼んでいます。 福地温泉街では、この「青だる」を模したものが、毎年ライトアップされます。 〇材木岩 上宝町双六にある材木岩は、上宝火山の大噴火の火砕流堆積物です。火砕流堆積物が無造作に積み上げた材木のように見えます。弘法大師が寺院建立のために集めた材木を、天邪鬼が岩に変えてしまったという伝説が残されています。 〇夫婦岩 上宝町岩井戸の高原川沿いにある夫婦岩は、高山市の天然記念物に指定されている奇岩です。岩井戸にはたくさんの巨大な礫が点在します。北側の尾根から落ちてきたもので、上宝火山の火砕流堆積物が冷却収縮するときにできた規則的な割れ目の節理面に沿って崩落したものです。 〇杓子の岩屋 上宝町岩井戸の杓子の岩屋は、上宝火山の大噴火によって生じた火砕流が堆積し、自らの熱で溶結してできた岩盤です。冷えてゆく過程で節理を生じ、節理面からブロック状の崩落が起こり、その跡が岩屋になっています。槍ヶ岳を開山した江戸時代の播隆上人が修行でこの岩屋にこもった伝説があります。 〇八本原 丹生川町北部に広がる高台の八本原は、上宝火山の大噴火の火砕流が西に向かって広がった上宝火砕流堆積物で形成された場所です。 〇上野平 丹生川町上野平にある台地で、乗鞍火山活動の断層が確認できます。断層の上の層が上宝火砕流堆積物、下の白い層が、丹生川火砕流の火砕サージによる堆積物の大洞層（おもに軽石からなる）です。 大洞層には、槍、穂高から流れてきた丸く大きな石があり、200 万年前～64 万年前に梓川がここを流れていたことを示しています。上宝火山の大噴火による梓川の流路変遷の形跡も確認できます。 また、ここからは北アルプス方面の笠ヶ岳から乗鞍岳、御嶽山が一望でき、眺望が見事です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	福地壁は、現地まで行くことは困難ですが、福地山第 3 展望台より見ることができます。 上野平以外が飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（槍・穂高カルデラ火山地形・地質）
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○槍・穂高連峰 乗鞍岳から望む槍・穂高連峰 飛騨山脈（北アルプス）の主稜線の中核、槍・穂高連峰は、西穂高岳から槍ヶ岳まで続く急峻な尾根の連続となっていて、鋸歯状山稜ともよばれる景観は、国土地理院の日本の典型地形にも掲載されています。太平洋プレートの圧力や、マグマの上昇などが相まって、驚異的な速さで上昇した山脈ならではの山岳景観です。穂高連峰は約 176 万年前、南北に伸びたカルデラ火山でした。火山活動のもととなったマグマが噴出したものはカルデラ内に堆積し穂高安山岩に、地下深いところでゆっくり固まったものは滝谷花崗閃緑岩になっています。 ○槍ヶ岳 日本で 5 番目の高さ 3,180ｍの山で、山頂を中心に 4 つの氷河がその山体を削り、三角形の特徴的なピークを作り上げています。また、山頂は東に 20 度ほど傾いています。 ○西穂丸山 西穂丸山は、新穂高ロープウェイの西穂高口駅から西穂山荘を経由したその先にある比較的やさしいコースです。穂高連峰や上高地の大正池が望めます。 ○滝谷 穂高連峰の北端、北穂高岳 3,016ｍから切れ込む岩の墓場ともよばれる谷です。 谷の奥には北穂ドームをはじめとする岩壁が屏風のようにそびえ立ちます。槍穂高カルデラ火山のマグマからできあがった滝谷花崗閃緑岩の名前は、この谷に由来しています。 ○双六岳 標高 2,860ｍで、広くなだらかな稜線が特徴です。この山のまわりには 1 万年前に終わった氷河期の、氷河の侵食により削り取られたやせ尾根が見られます。氷河におおわれながらもその侵食からまぬがれた、特徴的な稜線と言えます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	西穂高岳から槍ヶ岳までは急峻な尾根が続くため、登山には十分な計画装備が必要です。また、登山の際には登山届の提出が義務付けられています。飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（笠ヶ岳カルデラ火山）
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○笠ヶ岳 笠ヶ岳は標高 2,898ｍのカルデラ火山です。一般にカルデラ火山といえば陥没地形をイメージしますが、笠ヶ岳はカルデラの周辺が侵食されて、カルデラの内部が露出しています。山を東側から見ると複数回の噴火を物語る明瞭な横縞模様が確認できます。 春、上宝地域から笠ヶ岳を見ると、残雪によって山肌に白馬の様な姿が見られ、田植えの合図として親しまれています。 江戸時代に播隆上人が集団登拝した歴史があります。 ○錫杖岳 笠ヶ岳カルデラ火山の外側カルデラにある、垂直の壁に取り囲まれた 2,168ｍの岩峰です。4 期に分けられる笠ヶ岳カルデラ火山の活動のうち、第 2 期に形成された層厚 1,600ｍの溶岩を主体とする笠谷層に含まれ、溶岩の節理が垂直の岩壁を構成しています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	笠ヶ岳の登山道の 1 つ笠新道は難易度が高く、登山には十分な計画装備が必要です。また、登山の際には登山届の提出が義務付けられています。飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（大雨見山層群）
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	大雨見山層群はおよそ 6,600 万年前に大規模な火砕流の噴出をともなう大雨見山火山活動で形成された岩体で、旧丹生川村と旧上宝村の境界にある大雨見山や国見山の周辺にわたって分布しています。 ○杖石 上宝町長倉の高原川添いにある杖石は、大雨見山層群のマグマが貫入した岩脈が侵食から取り残され、柱のようにそびえ立った巨大な岩です。下流側からは、弁天様がお祀りされた頂上まで登れるように整備されています。弘法大師にまつわる置忘れの伝説があります。 ○字書き岩 上宝町長倉の国道 471 号沿いにある字書き岩は、大雨見山層群を構成する明ヶ谷溶結凝灰岩層の一部で、高さ 16m、幅 7ｍの巨大な岩です。寛政年間、高山宗猷寺の僧南裔が「万古不易」の 4 文字をしたためたことから、字書き岩と呼ばれるようになったといわれています。現在の文字は乃木希典の揮毫「皇威輝八紘」を明治後半に刻んだもので、完成までに数年間を要したといわれています。 ○石仏と奇岩群 上宝町荒原の道路から見える奇岩群です。大雨見山を中心に活動した火山の溶岩に発達した節理面が風化、侵食され、それぞれ独立した岩のように見えています。石仏の表面には風化に強い玉髄（石英）が取り残されて突起のようになったものが多数確認できます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	杖石は隣にトイレと駐車場が整備されています。杖石の上まで登ることも可能です。 字書き岩は近くに駐車場がないため駐車場所に注意が必要です。 いずれも飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（鍋平高原）
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	鍋平は、蒲田川の上流部、右俣谷と左俣谷の合流点から下流左岸にあり、堆積した土砂が侵食されて形成された段丘地形です。 〇鍋平高原 広葉樹の森が広がり、山野草などが楽しめる自然散策路が広く整備されています。 〇鍋平高原駅 新穂高ロープウェイの中継駅です。 〇新穂高ビジターセンター「山楽館（さんがくかん）」 山楽館は北アルプスの山々の楽しみ方を伝える資料館で、奥飛騨の自然について学ぶことができます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	鍋平高原駅には駐車場が整備されています。 山楽館では、鍋平高原のガイドウォークやスノーシューツアーなどの各種イベントが開催されています。 また、飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（外ヶ谷深層崩壊跡）
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	外ヶ谷深層崩壊跡は、新穂高ロープウェイが設置されている千石尾根の南側斜面にある大きく崩壊した跡で、明治 22 年 7 月、豪雨により大崩壊したものです。海洋底堆積物である美濃帯の堆積岩に、白い岩脈が貫入した岩盤が露出しています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	蒲田地区から穂高方面を望むと見ることができます。飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	山岳・火山地形（乗鞍岳周辺の山々）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	〇安房山 乗鞍連峰と焼岳を結ぶ稜線上に位置している山です。かつては安房山の名は乗鞍岳全体の古称としても使われていました。 〇十二ヶ岳 紅葉が美しく、乗鞍岳ほか飛騨山脈（北アルプス）、御嶽山、白山も一望できる眺望がすばらしいです。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	安房山には整備された登山道はありません。 十二ヶ岳には登山道が整備されています。

区分	地形・地質
細区分	河川・渓谷
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳周辺の河川・渓谷は、火山活動の影響を深く受けています。 また、神通川上流の蒲田川流域、平湯川流域は急峻な北アルプスの地形と火山活動の影響により大量の土砂が流れ込んでくるため、古くから砂防えん堤の建設が進んできた地域です。 〇木地屋渓谷 丹生川町折敷地の丹生川ダム上流域にある渓谷です。この渓谷を形成している五味原文象斑岩は、およそ 6,600 万年前に活動した大雨見山火山のもとになったマグマが上昇してきたものと考えられ、大雨見山層群との複合岩体です。川底は滑らかで川遊びの好適地です。 〇双六渓谷 上宝町を流れる双六川は、飛騨花崗岩類のある飛騨山脈西側の最奥部を源流とする河川です。飛騨花崗岩類は繰り返し変成作用を受けているために、風化しにくくなっています。このため、双六川の谷筋には花崗岩などが風化したマサ土が少なく、洪水になっても濁りが速やかに収まる特徴があります。水が澄んでおり夏には川遊びスポットとして、秋には渓谷一帯の紅葉が楽しめます。 〇蒲田川 蒲田川は、急流な河川であること、両側の地形が急峻であることから大量の土砂が流れ込んでいます。侵食を抑え、下流への土砂流出を防ぐために、いくつかの大規模な砂防えん堤が設置されています。たから流路工は、蒲田川と平湯川の合流部に設けられた砂防施設です。周囲の景観と自然に配慮しながら、河原の石を利用して床固工、帯工、護岸、魚道等に活用したものです。親水公園、露天風呂、遊歩道も整備され、訪れる人の憩いの場ともなっています。 〇本郷河岸段丘 上宝町本郷は高原川に形成された河岸段丘の上部にあります。13 万年前から 16 万年前の旧期焼岳火山の岩坪山・大棚火山の噴出物による火山泥流（ラハール）が、高原川をせき止めて形成されたものです。 〇岩坪谷 奥飛騨温泉郷一重ケ根の岩坪谷は、日本最古（オルドビス紀）の化石が発見された谷です。一重ケ根層と呼ばれる火山灰層からはヤツメウナギのような生き物の化石が見つかっています。 また、焼岳の火山灰からなる地層は大変もろく、多くの土石流を起こしており、古くから砂防えん堤の建設が進められてきた谷です。岩坪谷の砂防えん堤の一部は歴史的価値を有し、国の登録有形文化財に指定されています。 〇安房谷 十石山と安房山を水源とし、平湯温泉街の横を流下し平湯川に合流する谷川です。谷を挟んで地質が異なっているのが特徴で、左岸は古生層の基盤十石山溶岩の角閃安山岩が覆い、右岸は白谷山火山の溶岩が覆っています。上流部は、白谷山火山の溶岩により堰き止められた沖積層で形成されています。 〇平湯川（高原川） 平湯大滝を流れ落ちる滝谷と、平湯峠の道沿いに流下するトヤ谷が平湯キャンプ場付近で合流したものが平湯川（高原川）で、かつて

	は毛受母川（もずもがわ）と呼ばれていました。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	木地屋渓谷、双六渓谷では川遊びができますが、天候の急変、周囲の安全に十分気を付ける必要があります。 木地屋渓谷、双六渓谷、蒲田川、本郷河岸段丘、岩坪谷が飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	滝
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳周辺では火山活動による溶岩流の末端によって形成された滝が複数みられます。 〇平湯大滝 平湯大滝 奥飛騨温泉郷平湯の平湯大滝は、烏帽子火山体の山体崩壊によって、流れ出た四ツ岳火山帯溶岩流の上に形成された落差 64m、幅 6mの壮大な滝です。日本の滝 100 選、飛騨三大名瀑、岐阜の名水 50 選に選出されています。毎年 2 月には結氷した滝の姿をライトアップする平湯大滝結氷まつりが開かれ、色とりどりに照らし出される幻想的な雰囲気を楽しめます。 〇銚子の滝 丹生川町旗鉾銚子谷にかかる滝で、落差は 25mあります。八本原に刻まれた谷で基盤の美濃帯が露出しています。 滝の名前はお酒を入れる「銚子」からつけられています。 歩道があり、滝に近い距離で見ることができます。 〇岩舟の滝 丹生川町柏原にある滝で、古くから信仰の対象として多くの人々に親しまれてきました。大雨見山層群宮川谷層の溶岩にかかっていて、滝の右側では崖の下に、基盤の飛騨外縁帯森部層の上に、溶岩が乗り上げている様子を見ることができます。 〇百間滝 直瀑状から滑状の滝へ複数の滝が長い距離にわたって連なっています。100 間（約 180m）滝が連なることが名前の由来と考えられます。 〇宗関滝 三段に流れ落ちる落差 15mほどの滝です。 〇蓑谷三滝・沢上谷（そうれだに） 上宝火砕流によって台地が形成され、それを沢上谷が深く侵食して形成されたものです。蓑谷大滝、五郎七滝、山犀滝の 3 つの滝が流れ落ちる地形となっており、沢登りコースとして人気があります。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	各滝への歩道は決められたルートを歩き、足元には十分な注意が必要です。 蓑谷三滝・沢上谷へ向かう県道 89 号は道が狭く車両の通行には注意が必要です。沢上谷の沢登りでは沢登り用の装備が必要です。 平湯大滝、銚子の滝、岩舟の滝、蓑谷三滝・沢上谷は飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	湖沼（乗鞍岳の湖沼）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳には火山の活動により形成された火口湖や溶岩流の堰止湖、通年で雪が消えない氷食湖など、7 つの湖があります。 〇権現池（ごんげんいけ） 剣ヶ峰（権現岳）から流れる河口のやや南寄りに湛水した火口湖で、標高 2,845ｍに位置しており、日本で 2 番目に高い場所にある湖沼です。かつては乗鞍大池と呼ばれており、乗鞍湖沼群中最も広い面積があります。渇水期には南部の浅いところが分裂して一つの小池ができ、一般にそれを「三日月池」と呼んでいます。 〇亀ヶ池（かめがいけ） 恵比須岳と魔王岳とのほぼ中央にある火口湖です。標高 2,664ｍで、渇水期には南北二つの小池に分かれます。内壁が急傾斜したじょうご型の円錐形湖で、乗鞍岳の火山湖の中では最も火山湖らしい形をしています。湖畔にはかつて亀甲砂礫の現象がみられましたが、火口壁から崩れ落ちる小石などのため、今はみられなくなっています。 〇鶴ヶ池（つるがいけ） かつては乗鞍湖沼群のうち最も大きい円形の火口原湖でしたが、大黒岳の斜面から土砂が流れ込んで S 字型の小さな湖面となりました。標高は 2,694ｍで、豊水期には湖面の面積が広がり、その形がツルに似ていることからこの名があります。かつては湖畔に亀甲砂礫の現象がみられましたが、観光登山者に踏まれたため姿を消してしまいました。春の乗鞍スカイライン開通後しばらくの間は雪の壁が見られるのも特徴です。 〇不消ヶ池（きえずがいけ） 摩利支天火山帯の火口湖で、乗鞍岳ではただ一つの氷食湖で、標高 2,733ｍです。不消ヶ池の名前の由来は、火口壁の北側が開いているため北風に乗った雪が火口壁に囲まれた凹地に吹き溜まり、その雪が年中消えないことから名付けられました。水面が現れるのは 8 月末から 9 月の初めにかけてです。また、ここにたまった水は畳平のバスターミナル一帯の山荘や売店などの水源となっています。 〇五ノ池（ごのいけ） 五ノ池 里見岳の南麓にある堰止湖です。室堂ヶ原を源とする赤川の一源流が、一ノ池火山帯の第五溶岩によってせき止められてできた池で、五つの池が数珠玉のようにつながっています。東から一ノ池、二ノ池、三ノ池、四ノ池、五ノ池の順に呼ばれますが、一ノ池から三ノ池までは標高 2,700ｍの所にあり、四ノ池と五ノ池はそれより低い所にあります。池の周りにはハクサンイチゲ、コバイケイソウ、チングルマ、ウサギギクなどが咲き、亀甲砂礫の現象もみられます。豊水期になると、5 つの池が 1 つの大湖沼になります。 〇大丹生池（おおにゅういけ） 桔梗ヶ原の西側直下にある堰止湖で、標高約 2,337ｍに位置しています。樹林帯の中にあるのもこの湖の特徴です。昔、村里が干ばつに見舞われると、ここが雨乞いの場となりました。円空上人がこの

	地に千体の仏像を沈め、災いをおさめたという伝説が残っています。 ○土樋ヶ池（つちどよのいけ） 烏帽子岳の西にある溶岩流による堰止湖です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	権現池、不消ヶ池は乗鞍岳の夏山の飲料水や生活用水に利用されており、立ち入り禁止となっています。五ノ池は自然保護のため、現在立ち入りが禁止されています。

区分	地形・地質
細区分	雪渓
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳の大雪渓では、真夏でもスキーを楽しむことができます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	スキーヤー、スノーボーダー等による雪渓の利用では、原生的な景観地においてふさわしくない行為（旗門の設置、マーカー等）が行われないように指導が必要です。

区分	地形・地質
細区分	洞窟
所在地	丹生川エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	飛騨大鍾乳洞は、観光鍾乳洞としては日本一の標高 900ｍにあり、内部の通年平均気温は約 12℃で、真夏でも涼しいです。長さは 800ｍで付近一体は「コカンゾ谷一帯の鍾乳洞」として高山市の天然記念物に指定されています。 また、併設されている大橋コレクション館では世界中から集められた美術品を見ることができます。また、両面宿儺（すくな）洞窟（遥拝所）、売店などがあり、観光庁等が後援する恋人の聖地にもなっています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	観光地として多くの観光客で賑わっています。飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	地形・地質
細区分	化石
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○福地化石産地 奥飛騨温泉郷福地周辺は化石の産出地で、一ノ谷は 1.4 ヘクタールにわたって国の天然記念物に指定され、立ち入りが制限されています。福地山には登山道が整備されており、登山道では石灰岩の転石が多く見られ、ほとんどの転石に化石が含まれています。 ○福地化石館 ４億８千年前のオルドビス期の化石、４億年前のサンゴの化石など、福地で見つかった化石を展示しています。福地の化石研究の歴史やその重要性などを学ぶことができます。 化石館の隣には石動の湯が併設されています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	福地山の登山道は急傾斜のため、登山用の装備で入山するとともに、足元には十分に注意する必要があります。飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイトに指定されており、各種ジオツアーが行われています。

区分	自然現象
細区分	気象
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○乗鞍岳の気候 高山市内が気温 30 度の時でも乗鞍岳の畳平は 17～18 度と、夏でも冷涼な気候です。地表が凍結を繰り返すことでみられる構造土（亀甲砂礫）も高山性の気候の影響です。 ○雲海 10 月頃に乗鞍岳の峰から眼下に雲海が広がり、北アルプス連峰が雲上に浮かんで見えます。 ○おみわたり 冬期の夕方、高山市側から飛騨山脈（北アルプス）を見たとき、山々の雪が夕日に照らされて色が変わる美しい現象が「おみわたり」です。夕焼けで飛騨山脈が真っ赤に染まる姿は絶景です。 雲海
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	雲海やおみわたりは、観光面での活用が望まれます。乗鞍畳平付近は夏季であっても強風時や天候急変への備えとして防寒具や雨具の持参が必要です。

区分	自然現象
細区分	山岳景観
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○剣ヶ峰 山頂は見晴らしがよく、360 度の眺望が望めます。 ○ご来光 乗鞍エコーラインの峠部、大黒岳、富士見岳、剣ヶ峰はご来光スポットになっています。 剣ヶ峰からのご来光 ○夕日 桔梗ヶ原より望む、白山連峰に沈む夕日が素晴らしいです。 ○夫婦松展望台 夫婦松展望台から春は雪の壁が望め、白山連峰、槍・穂高連峰の展望が望めます。 ○北アルプス展望園地、北アルプス大橋 アルプス展望園地は、槍ヶ岳、笠ヶ岳など飛騨山脈（北アルプス）の絶景が見られる場所です。秋の紅葉や、晴れた日の夜の星空も見事です。 北アルプス大橋は全長 150m、高さ 70mで、新穂高温泉中尾高原と鍋平園地を結ぶ見晴らしが抜群の絶景スポットです。特に 5 月頃の新緑、10 月頃の紅葉の時期にひときわ美しい景色が見られます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	観光面での活用が望まれます。北アルプス大橋を散策する場合は、隣接する北アルプス展望園地駐車場に駐車することや、橋は歩行に十分な幅の歩道が無いため車の通行に十分注意する必要があります。

区分	自然現象
細区分	天文（星空）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳から見られる星空は圧巻の美しさです。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	観光面での活用が望まれます。乗鞍畳平では星空観察会が行われています。

(2) 自然環境と密接な関係を有する風俗習慣その他伝統的な生活文化に係るもの

区分	歴史文化
細区分	山岳信仰（乗鞍信仰）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳は、古くから神仏のおられるところとして、山そのものがご神体とされ、山麓民に広く崇拝されてきました。乗鞍岳への登山は、乗鞍山縁起によると、大同２年（807）に坂上田村麻呂が東国平定のときに登山祈願したのが始めと言われており、修験僧である円空も乗鞍岳を開いた一人です。信仰の山として、修験のため行者達が登ったのが乗鞍登山の始まりでした。行者たちが先達となって一般の信者を案内していました。飛騨側では丹生川の岩井谷沢上地区から多く登ったようで、名古屋方面の信者が多く、弘徳霊師、仏国行者、桂覚、心徳らの先達が多くの信者を引き連れ、毎年乗鞍岳に登った歴史があります。 〇沢上地区の乗鞍祭り 丹生川の岩井谷沢上地区では、毎年８月８日に地区住民全員で乗鞍岳に登頂し、乗鞍祭りを行う文化がありました。山頂で獅子舞いを奉納し、盛大なお祭りをしてきました。現在は畳平の中之宮にて乗鞍祭りが行われています。 〇雨ごい 「飛州志」によると、高原郷の村々では干ばつに見舞われると、雨ごいのため村人達が乗鞍岳に登り大丹生池の周りで祈願していました。大丹生池は飛騨の人たちにとって雨ごいの場であり信仰の池でした。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	乗鞍岳登山ツアーなどで伝承話として紹介するなどにより、乗鞍岳の魅力を深め、参加者の意欲を高めることが期待できるほか、歴史探訪への活用が望まれます。

区分	歴史文化
細区分	寺社仏閣
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア、丹生川エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍信仰にまつわる寺社仏閣が多数あります。 〇剣ヶ峰山頂に建つ乗鞍本宮・朝日権現社 剣ヶ峰山頂には、２つの神社がお互いに背中合わせで東西に向いているのが特徴で、岐阜県側が乗鞍本宮、長野県側が朝日権現社です。 〇乗鞍本宮中之社 畳平にあります。御朱印、お守りなどを授与しています。８月８日に例祭が行われています。 〇乗鞍権現社 乗鞍平湯登山道の途中にあります。 〇千光寺・円空仏寺宝館

	丹生川地区にある千光寺は、高野山真言宗の名刹で約 1,200 年の歴史があります。円空仏寺宝館では「立木仁王像」「両面宿儺坐像」など 64 体の円空仏が祀られていて拝観できます。千光寺のある袈裟山はスギ、アカマツ、モミ、ケヤキ等の良好な緑地として岐阜県緑地環境保全地域に指定されており、巡拝路や野鳥観察の森となっています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	歴史探訪や、観光面での活用が望まれます。円空仏寺宝館は 4 月～11 月末の土日月祝に開館しており見学が可能です。巡拝路（野鳥観察の森）では踏み荒らしを防ぐため、決められたルートを歩き山道以外に立ち入らない等の配慮が必要です。

区分	歴史文化
細区分	史跡
所在地	丹生川エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○縄文時代の遺跡群 高山市にある上切平野遺跡などの縄文時代の多くの遺跡は乗鞍岳が望める位置にあり、縄文時代からの乗鞍岳の象徴性が伺えます。 ・上切平野遺跡（高山市上切町） ・風土記の丘史跡公園（高山市赤保木町） ・根方岩陰遺跡（丹生川町） などがあります。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	歴史探訪での利用が望まれます。

区分	歴史文化
細区分	生活文化（古民家）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○平湯民俗館 江戸時代中期に建てられたかやぶき屋根の農家「豊坂家住宅」を民俗館のメインの施設として活用し農具や民具など、飛騨のくらしを展示・公開しています。 ○荒川家住宅 荒川家は天正年間から続く旧家で、江戸中期に建てられた住宅は国の重要文化財に指定されています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	施設は無料で見学できます。歴史探訪や、観光面での活用が望まれます。

区分	歴史文化
細区分	生活文化（郷土料理）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア、朝日・高根エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	郷土料理として、飛騨牛、朴葉みそ、朴葉寿司、高山ラーメン（中華そば）、漬物、漬物ステーキ、飛騨そば、川魚料理、飛騨の寿司、汐ぶり、汐ます、煮いか、みたらし団子、五平餅などがあります。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	飛騨・丹生川地域の旅館、食堂などで味わうことができ、土産物屋、産直市場などで購入することができます。旅館や食堂などで積極的に採用することで、ブランド力の向上及び、地域経済の発展に寄与することが期待できます。

区分	歴史文化
細区分	生活文化（高地栽培の野菜類）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア、朝日・高根エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	宿儺かぼちゃ、久手大根、ほうれん草、トマト、トウモロコシ、飛騨ねぎ、高原山椒、赤かぶなどが飛騨地域の特産品となっています。乗鞍山麓の高地で寒暖の差が激しい環境で育つ野菜は甘さ、柔らかさが抜群です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	飛騨・丹生川地域の一部の産直市場、土産物屋で購入できます。旅館や食堂などで積極的に採用することで、ブランド力の向上及び、地域農業の発展に寄与することが期待できます。

区分	歴史文化
細区分	生活文化（山麓の生活と食文化）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア、朝日・高根エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍山麓の山国の生活史は、身近にある自然のものを極力利用するものでした。 食文化は、山菜、木の芽、木の実などが主体でした。山国で米が獲れないので、そばや稗を栽培し、そば粉とワラビ粉を使った焼き餅が常食でした。1 日の寒暖差が大きいため山菜には甘みが多く、好んで食べられていました。また、重要な補食としてナラの実が食べられていました。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	五平餅や豆板、三嶋豆、とち餅、とちのみせんべいなどの駄菓子などが現在お土産物として販売されています。

区分	歴史文化
細区分	生活文化（峠と街道）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア、朝日・高根エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○安房峠 古くは鎌倉街道で、安房峠は歩荷の道でした。平湯には番所が置かれていました。1997 年に安房峠道路として安房トンネルが開通し、通年通行が可能となりました。 ○平湯峠 古くは険しい難路でした。峠を行きかう人の難儀を手助けしたり、救助したりしていた峠のお助け小屋が存在していました。 ○野麦峠 古くからの重要な街道で鎌倉街道、江戸街道とも呼ばれていました。明治から大正にかけ、飛騨地域から長野県諏訪地方の製糸工場に出稼ぎに来た工女たちが、命懸けで歩いた野麦街道の難所として知られています。現在は５月下旬に、旧野麦街道糸引き工女列が再現されています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	歴史探訪や、観光面での活用が望まれます。安房峠の旧道である国道 158 号線および野麦峠は冬期通行止め期間があるため事前の情報収集が必要です。

区分	歴史文化
細区分	伝統行事（へんべとり）
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	「へんべとり」は、市の無形文化財にも指定されている獅子舞です。その昔、村上天皇がこの地で旅の疲れを癒された際、蛇の大群が出て困りはてている里人を見て、蛇群退散のため八百万神に祈願の舞を奉納したのがこの舞の由来だと伝えられています。福地温泉夏まつり中には毎晩実演されます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	歴史探訪や、観光面での活用が望まれます。

区分	歴史文化
細区分	登山文化（登山の歴史と登山道）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア、朝日・高根エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○乗鞍登山の歴史 乗鞍登山は、山岳信仰による行者の登山がきっかけでした。乗鞍岳の登山路は、昭和初期には岐阜県側だけで 10 本もあり、強い信仰によって登山口が支えられ、地元にも大勢の信者がいました。そして、ガウランドやウェストンらの登山によって、近代登山（趣味での山登り）が広がっていきました。乗鞍スカイライン開通後はこれら旧登山道を利用する人は減り、廃道になったものも多いです。 ○登山道開拓の歴史 乗鞍岳への登山道は、地元民によって開拓された歴史があります。青屋道は旧朝日村～千町ヶ原～乗鞍岳のルートで、避難小屋が建設されました。阿多野道は旧高根町阿多野郷～乗鞍岳のルートで、山小屋が建設されました。赤川新道・黒川新道は板殿正太郎によって開拓されました。旧登山道は、地元民が長い年月をかけ、登山道開通による地域の発展のため、地道な努力を続けて開通・整備していったものです。 ○乗鞍岳の登山道 乗鞍岳の麓から剣ヶ峰まで現在利用できる岐阜県側の登山道は、国立青年自然の家から丸黒山、千町ヶ原を経るコース、朝日町青屋からのコース、平湯温泉スキー場からのコースがあります。 平湯コースはかつて荒廃していましたが、近年、クラウドファンディングなどを利用して整備されました。乗鞍スカイラインに平湯下山口というバス停も設けられました。 畳平から剣ヶ峰までの登山道は剣ヶ峰山頂までおよそ 2 時間以内で着くことができます。比較的体力がない人でも、老若男女、だれもが雄大な景観、群れなす高山植物の可憐な姿、清澄な空気、高山の雰囲気を味わえるのが魅力です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	乗鞍岳登山ツアーなどで伝承話として紹介するなどにより、乗鞍岳の魅力を深め、参加者の意欲を高めることが期待できるほか、歴史探訪への活用が望まれます。畳平からのコースでは、畳平まではマイカー規制によりシャトルバス及びタクシー利用が必要です。

区分	歴史文化
細区分	登山文化（青屋道の仏堂と石仏）
所在地	丹生川エリア、朝日・高根エリア
主な自然観光資源及び それを取り巻く特性	上牧太郎之助によって開かれた青屋道には、太郎之助が建てた道標と安全祈願のための仏堂と石仏を見ることができます。
利用の概況及び利用に あたって配慮すべき事項	乗鞍岳の麓からの登山ツアーなどで巡ることにより、乗鞍岳の魅力を深め、参加者の意欲を高めることが期待できます。

区分	歴史文化
細区分	登山文化（山岳ガイド）
所在地	丹生川エリア、奥飛騨温泉郷・上宝エリア、朝日・高根エリア
主な自然観光資源及び それを取り巻く特性	乗鞍山麓には、近代登山の発達を支えた乗鞍岳登山ガイドたちがいました。旧上宝村では、大正 10 年に登山案内組合が結成されました。
利用の概況及び利用に あたって配慮すべき事項	乗鞍岳登山ツアーなどで伝承話として紹介するなどにより、乗鞍岳の魅力を深め、参加者の意欲を高めることが期待できます。

区分	歴史文化
細区分	人物（乗鞍にゆかりのある人物）
所在地	乗鞍岳周辺
主な自然観光資源及び それを取り巻く特性	○円空 円空は、乗鞍岳開山の祖ともいわれています。大丹生池に千体の仏像を沈め、村人たちを妖怪から救ったという伝説があります。 ○ウォルター・ウェストン イギリス人宣教師で日本近代登山の父と呼ばれています。ウェストンの乗鞍登山記録を記し、乗鞍岳など日本の山々を世界に紹介しました。 ○ウィリアム・ガウランド イギリス人化学兼冶金技師で、日本アルプスの命名者です。日本近代登山の黎明期に乗鞍岳を登山しました。 ○板殿正太郎（いたんどしょうたろう） 赤川・黒川新道を開拓した人物です。私財を登山道や山小屋建設、遭難者の救助活動に費やし「板殿仙人」と呼ばれました。 ○篠原無然（しのはらぶぜん） 乗鞍登山道を改修し、平湯青年団を指揮した人です。各所に道しるべを立て、自作の詩や句や登山の注意などを書き、登山者の人気を集めました。篠原無然記念館が平湯民俗館に隣接してあります。 ○上牧太郎之助 明治 28 年（1895 年）千町ヶ原の神秘な景観に魅せられ、以来 40 年にわたってほとんど独力で青屋口乗鞍登山道（約 20 ㎞）を切り開いた人です。その間に道標を兼ねた仏堂を 88 か所に建立し、安全祈願の仏像 176 体を安置しました。
利用の概況及び利用に あたって配慮すべき事項	乗鞍岳登山ツアーなどで伝承話として紹介するなどにより、乗鞍岳の魅力を深めるほか、歴史探訪への活用が望まれます。

区分	歴史文化
細区分	伝承
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○平湯温泉の白猿伝説 平湯温泉には、甲州の武田家臣が飛騨攻めの際、疲労と硫黄岳の毒霧にやられ動けなくなっていたところ、白猿によって導かれた温泉で元気を取り戻したと言う伝説が残されています。 ○山伏の湯の伝説 平湯温泉には、山伏の湯にまつわる伝説が残されています。温泉宿平湯館の源泉名にもなっています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	平湯温泉街利用のツアーなどで伝承話として紹介するなどにより、平湯温泉の魅力を深めることが期待できるほか、歴史探訪への活用が望まれます。

区分	産業資源
細区分	温泉（奥飛騨温泉郷）
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	 新穂高の湯 奥飛騨地方は火山活動の影響を受けて特に温泉が豊富な地域で、日本一といわれる露天風呂数を誇る温泉地です。谷間の秘湯、高原のリゾート温泉など、湯量豊富な名湯が多いのが特徴です。国民保養温泉地（温泉利用の効果が充分期待される健全な温泉地で、自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化など将来的な地域づくりにつながる保養地）に指定されています。 ○平湯温泉 奥飛騨温泉郷の中で一番古くからある温泉地です。江戸時代末期に飛騨について書かれた「飛州志」にも平湯温泉についてまとめた「平湯温泉記」があり、戦国時代に武田家臣が利用した際の白猿伝説などが伝えられています。 ○福地温泉 国道から奥に入った立地で、ひなびた佇まいで落ち着いた雰囲気を味わえる温泉地です。平安時代に村上天皇によって開湯された伝説が残り、天皇泉とも呼ばれています。旬の食材、地元の特産品を販売する「福地温泉朝市」も人気です。 ○新平湯温泉 大小個性と魅力ある宿泊施設と多くの飲食店が並びます。奥飛騨名水「たるま水」と、たるま姫伝説が残る「縁結びの地」としても知られています。 ○栃尾温泉 蒲田川沿いの素朴でのどかな温泉地です。露天風呂「荒神の湯」からは清流蒲田川と大自然が眺められます。 ○新穂高温泉 奥飛騨温泉郷の中でも最奥にある温泉地で、北アルプスが間近に迫る雄大な自然が魅力です。露天風呂「新穂高の湯」からは蒲田川のダイナミックな風景が楽しめます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	各種ツアーでの宿泊の拠点としての利用が見込まれます。平湯温泉街町歩きツアーなどが行われています。

区分	産業資源
細区分	温泉（その他）
所在地	丹生川エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○飛騨にゅうかわ温泉　宿儺の湯 ほおのき平スキー場に隣接している天然温泉です。 ○荒城温泉　恵比須の湯 荒城川のほとりに立つ温泉施設で、川のせせらぎ、小鳥たちのさえずり、風の声を聞くなど自然を間近くに感じられる温泉です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	各種ツアーでの利用が見込まれます。

区分	産業資源
細区分	乗鞍スカイライン
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	○乗鞍スカイライン 乗鞍スカイラインは、高山市平湯峠から乗鞍岳畳平を結ぶ延長 14.4 キロメートルの山岳観光道路です。 乗鞍スカイラインの歴史は、昭和 16 年、亀ヶ池近くの陸軍航空研究所建設のため、軍用道路として平湯峠からの道路建設が進められたことが始まりです。終戦後昭和 23 年に県道に編入され、平湯～乗鞍岳線となり、「日本一高所を走るハイウェイ」となりました。手軽に 3,000ｍが味わえるとして登山客はもとより一般観光バス路線として脚光を浴びました。夏山シーズンには全国から何十万人の登山客が訪れ、「雲上銀座」となりました。しなしながら、マイカーによる著しい排気ガスによる自然破壊の進行などが問題となっていました。現在、乗鞍岳の貴重な自然環境を維持するための 1 つの手段として、車の数を制限するためのマイカー規制が行われ、シャトルバスが運行されています。 ○シャトルバスからの景観 シャトルバスからは大丹生岳を過ぎるあたりから視界が一気に開け、桔梗ヶ原の広大なハイマツ群落を見ることができ、春は雪の回廊、壁を間近に見ることができるなど、車窓からの眺望は見事です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	乗鞍スカイラインは、乗鞍自動車利用適正化協議会による乗鞍自動車利用適正化方針が定められています。現在は平湯峠～畳平間でマイカー規制が行われており、乗鞍スカイラインを利用するには高山駅やほうのき平バスターミナル、平湯バスターミナルなどから運行されているシャトルバスに乗車する必要があります。また、自転車で通行することも可能で、多くのサイクリストが訪れており、乗鞍スカイラインサイクルヒルクライムなどの自転車競技イベントも行われています。

区分	産業資源
細区分	砂防
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	奥飛騨地方は、急峻な北アルプスと活火山焼岳の影響によりたびたび土砂災害に見舞われてきた歴史があり、古くから砂防えん堤の建設が進められてきた地域です。 〇地獄平砂防えん堤 スーパー暗渠砂防えん堤。大きな石をせき止め、魚は往来ができるよう施工されています。ダムから北アルプスの展望が良く、槍ヶ岳、新穂高ロープウェイ、外ヶ谷深層崩壊跡などが見えます。 〇奥飛騨さぼう塾 土砂災害と砂防の歴史を地域の方々や当地を訪れる観光客などに伝えるとともに、情報誌の発行や子ども達の総合的な学習の時間での利用、近隣の砂防施設をフィールドとして一体的に活用するなど、地域情報の発信基地としての利用を目的とした施設です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	歴史探訪での活用が望まれます。飛騨山脈ジオパーク構想におけるジオサイトに指定されており、ジオツアーでの利用が見込まれます。

区分	産業資源
細区分	山小屋等（天文観測・研究、高山医学研究の各観測・研究施設）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	〇東京大学宇宙線研究所乗鞍観測所 乗鞍岳の室堂ヶ原には、東京大学の宇宙線観測所が設置されています。65 年以上前に開所した宇宙線観測に関係する研究施設で、全国の大学、研究所の研究者が観測を行っています。 〇高山医学研究所 昭和 20 年代、高所における医学の研究が必要とされ、2,702ｍの高所である畳平でよい研究ができると考え、畳平の診療所に高山医学の研究施設が開設され、研究が行われていました。現在研究所は無く、夏季診療所が開設されています。 〇鉄人 28 号 有名な漫画である「鉄人 28 号」では、乗鞍岳（乗鞍岳地下のロボット研究所）が鉄人 28 号の生誕地ということで紹介されています。その背景には、かつて第二次世界大戦時に陸軍の航空技術研究所の乗鞍航空実験所が建設された歴史があります。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	一部のマニア向けツアーや、歴史探訪での活用が望まれます。

区分	産業資源
細区分	山小屋等（畳平の施設）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍畳平には以下の施設があります。 ・乗鞍バスターミナル（夏季診療所、乗鞍自然展示館） ・銀嶺荘 ・乗鞍白雲荘 ・乗鞍本宮中之宮 かつては第二次世界大戦中に旧陸軍戦闘機実験施設があり、戦後に改修され、改修後は乗鞍山荘として観光客や登山客を迎えていましたが、2008 年に老朽化で解体されました。 〇乗鞍バスターミナル 日本一標高の高いバスターミナルです。手頃な価格で楽しめるミニガイドツアーやレンタル自転車、お食事、お土産等が整っています。バスターミナル内には乗鞍自然展示館があり、乗鞍の動植物、自然保護活動、太陽のコロナ観測や宇宙線観測の 2 つの観測所があることなどをパネルで展示し、乗鞍岳の魅力と楽しみ方のポイントを解説しています。 〇銀嶺荘 宿泊施設で、宿泊者は天気が良ければ満天の星空を満喫できます。レストラン、売店などがあります。 〇乗鞍白雲荘 宿泊施設で、平成 25 年に改修されました。小屋から絶景、ご来光や星空が満喫できます。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	銀嶺荘、乗鞍白雲荘は乗鞍登山などでの宿泊に利用されています。

区分	産業資源
細区分	山小屋等（乗鞍岳の山小屋）
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍畳平～剣ヶ峰山頂の間には、以下の 2 つの山小屋があります。 〇肩の小屋 剣ヶ峰まで約 1 時間の大雪渓の上に位置します。200 人収容でき、食堂と売店があります。 〇頂上小屋 剣ヶ峰山頂直下にあり、90 年前に建てられたもので、オリジナルグッズを販売しています。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	剣ヶ峰への登山客に利用されています。

区分	産業資源
細区分	鉱山
所在地	乗鞍岳一帯
主な自然観光資源及びそれを取り巻く特性	乗鞍岳山麓では、かつて栄えた２つの鉱山がありました。 〇平金鉱山跡 丹生川町岩井谷沢上地区にあった鉱山で、明治 10 年発見以後に栄

	え、銅、銀が中心でした。従業員千人を超える一大鉱山となり、従業員の町ができ大いに賑わい、東京から千両役者も呼んで盛り上がっていましたが、昭和 20 年に廃鉱となりました。 〇平湯鉱山跡 奥飛騨温泉郷平湯にあり明治 20 年代に栄えた鉱山で、銀、銅、鉛が中心でした。多い時には従業員が千数百人もいました。以前は利用者が少なかった平湯温泉も、鉱山が栄えてから活気づきました。その当時、乗鞍登山はこの鉱山道を通って登山していました。大正８年に廃鉱となりました。現在の平湯・乗鞍新登山道はルート改変された道です。
利用の概況及び利用にあたって配慮すべき事項	現在廃鉱跡は整備されておらず見学はできません。

2.2　その他の観光資源の名称と所在地など

区分	その他の観光資源
細区分	観光施設
所在地	丹生川エリア
主な観光資源及びそれを取り巻く特性	〇岩舟河川公園 荒城川のほとりで、渓流釣りやバーベキューなどが出来るキャンプ場です。「岩舟の滝」までは徒歩 5 分で行くことができます。 〇匠の館　森の水族館 飛騨の名工、川尻治助が建てた農家住宅が田上家住宅です。淡水魚水族館や、昭和 30 年代の高山市沿線を再現したジオラマが見学できます。

区分	その他の観光資源
細区分	観光施設
所在地	奥飛騨温泉郷・上宝エリア
主な観光資源及びそれを取り巻く特性	〇奥飛騨クマ牧場 ツキノワグマなど 100 頭余りがいます。えさやり体験や記念撮影などが楽しめます。子熊とふれあえる「こぐまロッジ」が人気です。 〇上宝ふるさと歴史館 地域の伝統文化や貴重な資料を後世に残すとともに、その歴史を紹介している学習施設です。地域に縁のある偉人や昔の人々の暮らしに関する資料、太古の化石など 420 点余りを常設展示しています。 〇新穂高ロープウェイ 日本唯一の 2 階建てゴンドラがあります。新穂高山麓駅から標高 2,156ｍの西穂高口駅までを通年運行しており、西穂高口からは、飛騨山脈（北アルプス）の山々を間近に望めます。春～秋の夜間には見事な星空を楽しめる星空観賞便も運行されています。

区分	その他の観光資源
細区分	観光施設
所在地	高山駅周辺
主な観光資源及び それを取り巻く特性	○アルプス展望公園スカイパーク 高山市街地に近い標高 570m の高台にあり、無料駐車場、展望デッキが整備されています。市街地及び乗鞍岳をはじめとした飛騨山脈（北アルプス）が一望できます。

区分	その他の観光資源
細区分	観光施設
所在地	朝日・高根エリア
主な観光資源及び それを取り巻く特性	○美女高原 ボートや釣りが楽しめる美女ヶ池や、キャンプ場、テニスコート、電動カートなどがあります。自然に恵まれ、4 月中旬にはミズバショウを見ることができます。

区分	その他の観光資源
細区分	スキー場
所在地	乗鞍岳周辺
主な観光資源及び それを取り巻く特性	○ほおのき平スキー場・天空のひまわり園 初心者～上級者まで楽しめる多数のコースが用意されています。スキー以外にも冬のアクティビティが充実しており、スノーラフティング、雪山スノーハイクなどが楽しめます。夏のゲレンデには 10 万本のひまわりが咲く見事な風景が楽しめます。 ○飛騨高山スキー場 標高 1,500m。乗鞍山麓の中腹にあり、豊富な雪と変化に富んだゲレンデが特徴です。 ○平湯温泉スキー場 平湯温泉街近くのスキー場で 100%天然雪を使用しています。

区分	その他の観光資源
細区分	キャンプ場
所在地	乗鞍岳周辺
主な観光資源及び それを取り巻く特性	平湯キャンプ場、奥飛騨温泉郷オートキャンプ場、岩舟河川公園、カクレハ高原キャンプ場、飛騨高山キャンプ場、アイミックス自然村南乗鞍オートキャンプ場、無印良品南乗鞍キャンプ場、飛騨高根野麦オートキャンプ場などがあります。

区分	その他の観光資源
細区分	サイクリング
所在地	乗鞍岳一帯コアエリア
主な観光資源及び それを取り巻く特性	乗鞍スカイラインは自転車乗り入れが可能な日本一標高の高い場所で、サイクリストに人気となっています。乗鞍スカイラインでは毎年夏に乗鞍スカイラインサイクルヒルクライムと全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍が開催されています。また、レンタルサイクルとしてチャリたび（電気自転車）及び、モビたび（小型電気自動車・夫婦松まで進入可）が利用できます。

区分	その他の観光資源
細区分	釣り
所在地	乗鞍岳周辺
主な観光資源及び それを取り巻く特性	○丹生川漁協 荒城川・小八賀川は魅力あふれる釣りフィールドで、アユ、イワナ、ヤマメなどが釣れます。遊漁券が必要で、禁漁区域・期間があります。 ○高原川漁協 平湯川～蒲田川～高原川エリアはヤマメ、イワナをメインにアユやニジマス釣りが楽しめます。遊漁券が必要で、禁漁区域・期間があります。

3.エコツーリズムの実施方法

3.1　ルール

乗鞍岳周辺のコアエリアについては、自然公園法で定められた国立公園に指定されており、動植物や環境保護のための制限があります。さらに乗鞍スカイラインについては一般車両乗り入れが禁止されており、「高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森の設置及び管理に関する条例」では、乗鞍山麓五色ヶ原の森でのツアーガイド同行による観光が義務付けられています。その他にも様々な関係法令等(P－50)の遵守が必要となります。

自然環境資源を保護育成しつつ、エコツーリズムを継続して推進していくためには、上記の法令等を遵守した上で、さらに参加者の安全確保、自然観光資源や地域の生活環境の保全がなされなければなりません。このため、本地域におけるエコツーリズムのルール（地域の取り決め）を定め、このルールを守るように取り組みます。ルールの遵守状況及びツアー内容や課題等については、関係者により定期的に確認、見直しをしていきます。

エコツアーに参加するインバウンドへのルール及び関係法令等の遵守については、多言語表記や解説を盛り込み、分かりやすい方法で周知を行います。

【取り組みの対象者】

■岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会（以下「協議会」という。）

■エコツアーを実施するガイドや団体等（以下「ツアー実施者」という。）

■エコツーリズムを含む観光に関わる様々な人々（以下「観光関係者」という。）

■エコツアーに参加する観光客（以下「参加者」という。）

(1) 法律・条例・制度等によって制限されている項目

① 乗鞍岳周辺（自然公園法による規制）

乗鞍エリア及び奥飛騨温泉郷エリアは、中部山岳国立公園内に位置しています。

特に乗鞍岳一帯は特別保護地区及び特別地域に指定されており、動物の捕獲、殺傷、卵の採取、植物の採取や植栽等の行為には国の許可が必要となります。

乗鞍山麓五色ヶ原の森や奥飛騨温泉郷エリアは、特別地域及び普通地域となり、工作物を新築・増改築する場合や広告物等を設置する場合などは許可申請、あるいは届出が必要となります。ただし公園風景の保護のために当該行為が禁止される場合もあります。

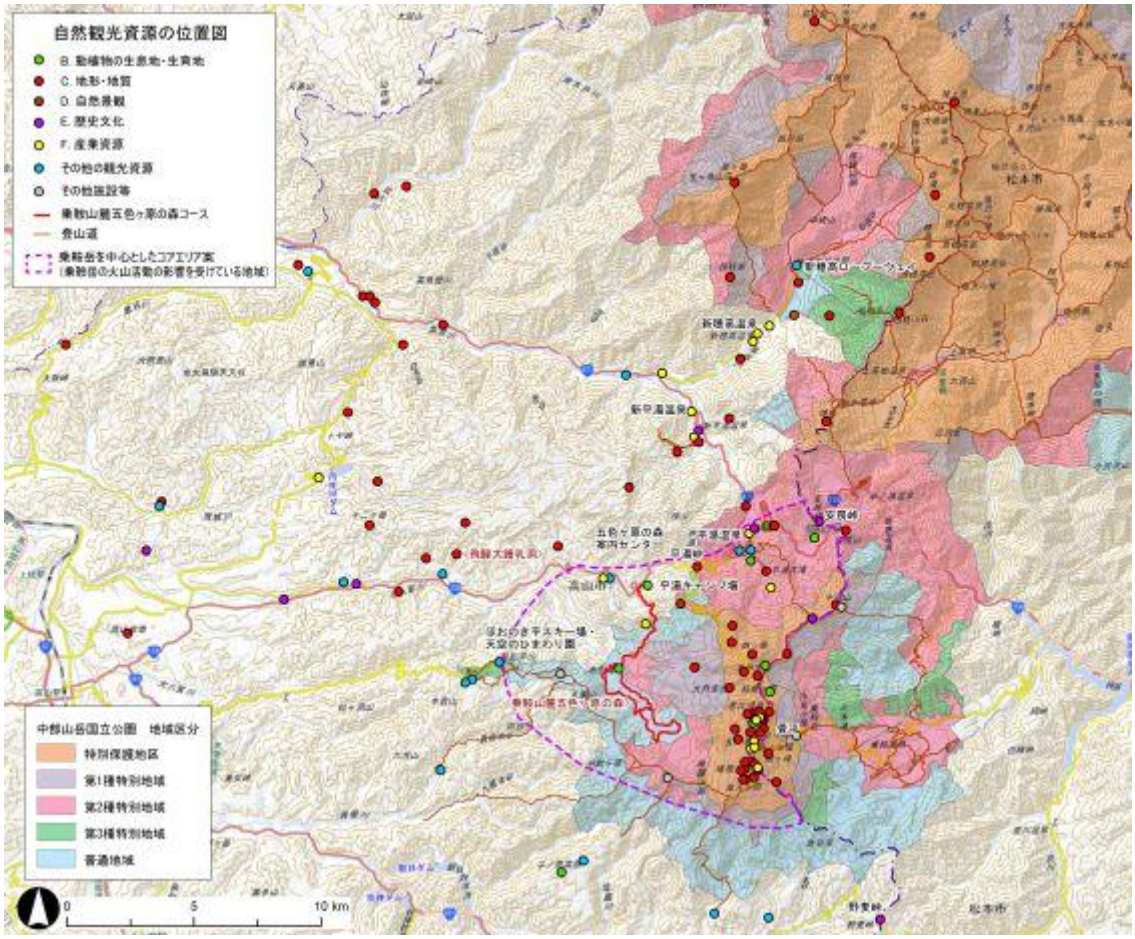

図　自然公園法で指定されている地域区分

② 乗鞍岳（山岳遭難に関する規制）

「岐阜県北アルプス地区及び活火山地区における山岳遭難の防止に関する条例」により、登山届の届出が義務付けられています。乗鞍岳は、火口域から 4km 以内が届出の対象（ただし畳平など一部は対象外）となっており、そのうち１km 以内は届出がない場合、過料が科せられます。

③ 乗鞍山麓五色ヶ原の森周辺（高山市条例による規制）

「高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森の設置及び管理に関する条例」により、動植物の採取、迷惑行為の禁止や、案内人を利用した予約制のツアーによる入山を規定しています。

④奥飛騨温泉郷福地の化石（文化財保護法による規制）

奥飛騨温泉郷福地周辺は、古生代の化石の産地として知られており、特に一ノ谷周辺は日本におけるデボン紀層を代表する地層があり、1.4 ヘクタールにわたって国の天然記念物に指定されています。貴重な財産を保存・活用し、後世に引き継いでいくため、立ち入りが制限されています。

(2) ルールによって保護する対象

ルール（地域の取り決め）によって保護する対象は、エコツーリズムで活用する自然や文化、歴史などの自然観光資源及び環境全般のほか、エコツアーの実施にあたって守る必要がある地域住民の生活環境や参加者の安全も含まれます。さらに参加者の満足度を高めるためのエコツアーの質もルールの対象として設定します。

1) ツアー実施者及び参加者全員で守るルール：自然観光資源や環境全般の保護育成

A 自然観光資源（野生動植物・生態系・自然環境・自然地形）
B 史跡や伝統文化
C 地域住民の生活環境

2) ツアー実施者が守るルール：ツアーの企画と運営

D 参加者の安全
E エコツアーの質

(3) ルールの内容及び設定理由

1) ツアー実施者及び参加者全員で守るルール：自然観光資源や環境全般の保護育成

ツアーの実施にあたって、動植物や自然環境、史跡や住民の生活環境を守るためには、ツアー実施者の適切な指導と、参加者の意識と協力が必要です。ツアー実施者及び参加者全員で守るべきルールは以下のとおりです。

A「自然観光資源（野生動植物・生態系・自然環境・自然地形）」に関するルール

	内容	設定理由
①	・登山道や見学路以外への立ち入りをしない。 ・野生生物への餌付けをしない。 ・ペットの持ち込みをしない。 ・指定の場所以外での排泄をしない。	希少な動植物や鉱物に対して、多くの人が観察や写真撮影に集まり、踏み荒らし等が発生することにより環境が悪化します。 ツアー実施者は、生態系への影響の低減及び動植物への配慮のため左のルールの徹底を伝えます。
②	・動植物や鉱物等の捕獲、採取、他地域からの持ち込みをしない。 ・鉱物等への落書きや破損、持ち帰り等をしない。	植物の園芸目的の盗掘や採集、動物の捕獲が減少の要因となり、固有の生態系を壊す要因になります。また、鉱物等の破損や持ち帰りは地域固有資源を損なう一因になります。 希少な動植物の生息地・生育地の保護、地域固有資源の保護のため、ツアー実施者は左のルールを説明します。

③	・ツアー前には靴底の泥を落とします。	外来植物の種などの侵入を防ぐため実施します。
④	・希少な動植物の生育・生息場所や時期などの公開（SNS 等）に関する配慮を行う。	植物の園芸目的の盗掘や採集、動物の捕獲が減少の要因となり、生息・生育状況、分布状況の適切な管理が必要なため、ツアー実施者は左のルールを説明します。
⑤	・ライチョウ観察ルールに従った行動をする。 （大声を出さない。5m程の距離を保ち追いかけたり進路を妨げたりしない。撮影の際にはフラッシュ（ストロボ）を使用しないなど）	ライチョウ観察ツアーなどの実施の際には、観察だけでなく保護の意識を高めてもらう事が必要なため設定します。
⑥	・ライチョウの目撃情報をアプリ（ライポス）などで情報提供する。	ライチョウの目撃情報を提供することにより、情報の集積や保護対策の基礎となるため実施します。
⑦	・クマに遭遇した時の行動・注意点を共有する。 （単独行動はしない、驚かさないように 100m程度の距離を保つ、エサをあたえないなど）	乗鞍岳周辺はクマの生息地であることを説明し、クマに遭遇した時の対処法をしっかり伝える必要があるため実施します。
⑧	・クマの目撃情報を共有する。	クマの目撃情報は、参加者だけでなく、一般観光客や観光関係者にも周知が必要であるため実施します。
⑨	・ゴミを捨てない。持ち帰る。	特に乗鞍岳周辺はクマの生息地であり、ごみを捨てることはクマを誘引する大きな要因になります。また、ごみの排出は、動植物の生息環境の悪化、景観の悪化につながるため、設定します。

B「史跡や伝統文化」に関するルール

	内容	設定理由
①	・史跡や鉱物への落書きや破損、持ち帰り等をしない。	ツアー実施者は、史跡等に関する自然観光資源の指定状況や規制内容を理解し、参加者に説明します。
②	・ツアー実施者は、乗鞍岳や地域の歴史に関する知識などの習得に努める。	古くからの乗鞍信仰・開山の歴史、受け継がれてきた伝統文化を伝承することにより、乗鞍への関心を深め保存の意識を高められるようにするために設定します。
③	・伝統文化への敬意をはらう。	神事や伝統芸能などは伝統に基づいて誇りを持って行なわれていますので、見学者は敬意をはらい、無理な撮影などで進行を妨げることがないようにするために設定します。

C「地域住民の生活環境」に関するルール

	内容	設定理由
①	・地域の生活や伝統を知り、地域の決まり事などを尊重します。	より深く乗鞍を知り興味を持ってもらうため、ツアー実施者は、地域の生活や伝統の知識を習得します。また、地域を尊重することによって地域住民とのトラブルを防止します。
②	・地域住民等の私有地等への無断立ち入りをしない。 ・交通安全や駐車マナーの徹底に努めます。	地域住民の方々の理解を得るとともに、トラブルを未然に防止するため、また、地域住民の生活環境や営農環境等を守るために設定します。
③	・自転車利用の際にも、交通安全に努め、自動車や登山者への配慮を怠らないよう注意して走行します。 ・ごみ捨てをしないなど、環境保護にも努めます。	道路上での車との接触事故や、スピードの出しすぎによる道路からの飛び出し事故など、サイクリストへの評価が低下していることも踏まえ、自転車利用のツアーなどでも、ツアー実施者は安全や環境保護についての説明を行います。
④	・ドローンの持ち込み、使用は土地所有者の決まりに従う。 ・ドローンを飛行させる場合は、飛行に必要な許可を取るとともに、安全に十分に留意して飛行する。	ドローンを飛行させる際には多くの法律が関わっています。住民トラブルや事故につながることもあり、飛行させる場合にはルールを十分に理解する必要があるため設置します。

2）ツアー実施者が守るルール：ツアーの企画と運営

参加者の安全や満足を得るためには事前準備やツアー中の配慮が必要となります。またツアーの質を維持し向上を図ることにより、リピーターの増加を見込むことができます。ツアー実施者や関係者が守るべきルールは以下のとおりです。

D「参加者の安全」に関するルール

	内容	設定理由
①	・ツアー前に参加者に対し、安全対策、服装、持ち物、注意点などの情報を提供します。	参加者の安全を確保するためには、ツアーの種類に合わせた服装や持ち物の事前準備が必要です。例えば乗鞍岳は気軽に登山できる一方で気候は厳しく、それに対応する服装や装備、持ち物などの情報提供が必要です。
②	・ツアー募集の際には、ツアーの種類によって求められる体力などの情報提供を行います。	ツアー内容により求められる体力が異なり、無理な行程は危険に繋がるため情報提供が必要です。
③	・参加者の体調や体力、持病等の把握を行います。	ツアー実施者は参加者の当日の体調を確認し、参加者の安全が確保できるよう配慮しな

		がらツアーを実施する必要があります。
④	・参加者の検温、手指消毒、マスク着用など、感染症対策を実施します。	新型コロナウイルスを含め、感染症対策を実施することによって、安心してツアーに参加できる環境を整えます。
⑤	・事前に参加者の保険加入を行い、参加者にも保障内容を伝えます。	保険加入は、事故や急病の際の参加者の安全を確保するとともに、事故の際のツアー実施者の負担を軽減するために必要です。また、事前に参加者へ保障内容を伝え理解を得ておくことも重要です。
⑥	・ツアーフィールドの事前調査を行い、把握した危険個所については参加者と情報共有を行います。	ツアーフィールドの事前点検や整備を行い、必要に応じて危険個所の回避のためのルート変更を行います。ツアー中に注意が必要な個所は事前に参加者に情報を提供し、共有しておく必要があります。また、安全に関わる必要な資材などは事前に準備しておきます。
⑦	・適切なルート・スケジュール・時間配分に則ったプログラムを設定します。	道路の通行可能時間や、施設利用ルールなど、そのエリアに適応した法令やルールを守るために設定します。
⑧	・ツアー実施前に天気予報等の情報を確認し、予想される危険性についても情報共有を行います。	急激な天候悪化などに対応するためには、事前の計画と参加者全員の適切な行動が必要となるため設定します。
⑨	・緊急時の連絡先や救急対応の把握、応急手当に必要な物品の準備を行います。 ・入山前には登山届を提出します。	事故や急病の際の参加者の安全を確保するとともに、事故が発生した際に迅速な状況把握が必要なため設定します。
⑩	・安全管理及び救命救急の知識・技術を習得する講習会に参加します。	ツアー実施時における緊急対応方法を身に着け、適切な対応ができる備えが必要です。

E「エコツアーの質」に関するルール

	内容	設定理由
①	・定期的なガイド講習会を受講します。	知識の習得や接客力（ホスピタリティ）の維持・向上、ガイドの質の向上をはかるために設定します。
②	・車両乗り入れ制限のある乗鞍エリアの通行可能時間や、乗鞍岳でのガイドマニュアル、施設利用のルールなど、それぞれのエリアに適応したルールを把握し、ツアーを実施します。	フィールドやルートごとの適切な利用形態を守るために設定します。特に山岳でのエコツアーは時間を厳守することが安全なエコツアーの実施につながります。また、行程が大幅にずれると参加者の不満に繋がります。
③	・協議会において、関係者と協議のうえ、適正な人数でのツアー設定を行います。	フィールドやルートによっては参加者が多すぎると踏圧の増加による自然環境の悪化につながります。自然環境保護や、安全性の確保、参加者へのより細かな配慮を行うために設定します。

④	・荒天時等の予備のプログラムを準備し、参加者にも事前に伝えます。	気象条件などにより予定変更を余儀なくされた場合でも、参加者の満足が得られることが必要なため設定します。
⑤	・地域サービスや地元野菜や地元産品などを積極的に利用するツアーを計画します。	自然観光資源以外でも地域の魅力を発信できるツアーを設定することで、地域振興やリピーター増加につながるよう設定します。
⑥	・集合・解散の場所や時間を考慮してエコツアーを計画し、告知も行います。	公共交通機関を利用する事によって、自家用車利用による二酸化炭素排出量の削減が望めるため設定します。
⑦	・ツアー実施者や観光関係者は、ツアーの様子などを SNS などで情報発信し、乗鞍の PR を行います。 ・ツアー時の写真等を広報利用する際は、事前の説明と確認を行い、参加者の許可を取ります。	参加者の中には広報媒体やネットなどへの写真掲載などを望まない方もおられるため、参加者の意思を尊重するために設定します。
⑧	・参加者へのアンケート等を実施し、ツアーの満足度などを把握します。	エコツアーの品質維持・向上をはかるために設定します。

(4) ルールを適用する地域

本構想の対象地域全域とします。

(5) ルールの適用に当たっての実効性確保の方法

ツアー実施者が行うエコツアーや観光関係者の取り組みがルールに適合するよう次の方法で実効性を確保します

1) ルールの共有

ルールが守られるためには、すべての関係者の間でルールを共有することが重要です。そのため、ツアー実施者や観光関係者、ツアー参加者及び地元住民に対してルールの周知を図ります。

① ツアー実施者・観光関係者

本ツーリズムの主体であるため、ルールの理解と厳守が必要です。協議会が中心となりルールの周知の徹底を図ります。また、新しいルールの策定や見直しの際は、協議会とツアー実施者・観光関係者が協力して行います。

協議会未加入事業者に対して理解を得るために、ホームページやパンフレット等における情報提供を行います。海外の事業者も想定し、多言語での情報提供に努めます。

② ツアー参加者

参加者が事前にルールや注意事項を知ることができるように、ツアー実施者や協議会のホームページ等で情報提供を行います。また、ツアー実施時にはツアー実施者から参加者へルールとその必要性を伝え、理解と協力が得られるようにします。

③ 地元住民

ツアーの実施には、地域住民の理解や参加・協力は不可欠です。協議会が中心となり、本ツーリズムの意義、ルールの内容や必要性について周知や協力要請等を行うとともに、地域が一体となった本ツーリズムを推進する体制の構築をめざします。

2）チェックリスト及び手引書（ガイドマニュアル）の作成

本構想で定めたルールや、各エコツアーにおけるみどころ、ガイドの心得などを記載したエコツアー実施の手引書（ガイドマニュアル）等を作成し、紙媒体や電子データにて配布します。

3）定期的なチェックの実施

ツアー実施者は、自らのエコツアーや取り組みがルールを守っているかセルフチェックし、必要に応じて内容を改善します。ツアー実施後にもセルフチェックを行います。

また、ツアー実施者や観光関係者は、一定の基準でツアーが実施できるよう、ツアー内容やガイドの基準についても検討を行います。

4）協議会によるアドバイス

エコツアーのルールに適合するかどうかについて、観光関係者が判断に迷う場合には、協議会が相談を受け付け、適切なアドバイスを行います。

5）ルールの定期的な見直し

ツアー実施者、観光関係者、有識者等が参加する協議会（年 1 回開催）において、ツアーの実施状況や自然観光資源保護のモニタリングの状況を踏まえ、本ルールでは不十分と判断される内容が確認された場合は、問題点を整理した上で、ルールの見直しを図ります。

3.2 案内（ガイダンス）及びプログラム

(1) 地域におけるエコツアーの基本的な考え方

ガイダンス（自然などの対象に関する説明や解説）の手法としては、ガイドが直接案内する方法や、解説表示板やガイドブック、パンフレット、スマートフォンなどの情報シス

テムを活用した間接的な手法（セルフガイド）があります。

乗鞍岳周辺の自然や文化の魅力を効果的に参加者に伝えるために、本地域で実施する案内（ガイダンス）については、人（専門のガイド）による案内を基本として、地域住民とのふれあいも大切にしたツアーを実施することを主とします。その上で補助的な案内や、必要が生じた場合には、間接的な手法を用いることとします。

(2) 主なガイダンス及びプログラムの内容

エコツアーの魅力の一つは、地元を知るガイドによる案内・解説です。それによって参加者は、乗鞍などの魅力をさまざまな視点で捉えたり、五感で感じる感動体験ができたり、自然は自分たちとつながっているという自然の神秘的な魅力に気づく機会に出会えます。エコツアーの実施にあたってはコンセプトを設けて、魅力あるストーリーによるガイダンスに努めます。

主なプログラムとしては、以下のような目的を持つものが含まれます。ここに示した内容は、乗鞍岳周辺で実施する全てのプログラムを示したものではありません。乗鞍岳エコツーリズムを発展させていくためには、これらを参考としながら、新たな自然観光資源を活用した魅力的なプログラムをつくることが望まれます。なお、エコツアーの企画・実施においては、ここに示した内容を組み合わせ、参加者に楽しみや感動を与えるエコツアーとしていくことが望まれます。

1) 自然環境に親しむエコツアー

日本を代表する傑出した山岳景観を持ち、中部山岳国立公園に位置する乗鞍岳は、バスで気軽にアプローチすることができ、美しい山並みや渓谷美、ライチョウや高山植物などの魅力を感じることができる場所です。ガイド付きの体験型ツアーやイベントを中心に、豊かな自然環境の素晴らしさを満喫していただき、自然環境の大切さを参加者に伝えます。

a. 高山植物を楽しむ（乗鞍岳畳平～剣ヶ峰）

- 乗鞍畳平のお花畑ツアー
- 乗鞍自然観察会

b. ライチョウ観察

- ライチョウウォッチングツアー　等

c. 気軽に 3,000m級登山を楽しむ

- 剣ヶ峰登山ツアー
- 乗鞍岳トレッキングツアー

- 乗鞍岳ｅバイクツアー
- 周回登山ガイドツアー（大国岳～桔梗ヶ原　等）
- 探検ゲーム形式で楽しむ乗鞍岳　等

d. 傑出した山岳景観、紅葉、星空やご来光を楽しむ

- 星空観察、月夜の散策（乗鞍畳平・夫婦松）
- 乗鞍畳平でのご来光ツアー
- 新穂高ロープウェイを利用して展望台からの景色や星空を楽しむ　等

e. 原生的な自然を楽しむ

- 乗鞍山麓五色ヶ原の森ガイドツアー
- 新穂高の自然を散策するガイドウォーク、スノーシューツアー
- 乗鞍スノーシューツアー

f. 自然環境について考える

- 乗鞍クリーン作戦
- 外来植物駆除イベント
- 登山道整備体験

2）地形・地質を学ぶエコツアー

a. 火山地形・地質

乗鞍岳一帯は約５億年前から現在に至る様々な地層が見られる地質の宝庫であり、上宝火山の噴火などの太古の火山活動によって生み出された特徴的な地形・地質を見ることができます。

- 独特な地形を巡り、地球の生い立ち、火山活動の雄大さなどを感じるツアー
- 火山の恩恵である温泉を巡るツアー
- 様々な滝を巡り、地形・地質を楽しむツアー

b. 化石

福地周辺は日本最古の化石がみつかった化石産地です。福地山にはトレッキングコースが整備され、福地温泉街には化石を常設展示した福地化石館があります。これらを巡ることで、太古のロマンを感じることができます。

- 福地化石館を見学し地球の成り立ちや地質を学ぶ
- 福地温泉と福地山トレッキングで地形・地質を感じるツアー

c. 砂防

奥飛騨地方は急峻な北アルプス地形もあいまって、たびたび土砂災害に見舞われてきた

歴史があり、全国的にも早くから砂防えん堤が建設されてきました。地域の砂防の歴史、砂防施設の機能や役割などを学ぶツアーを実施することにより、地域への理解を深めるとともに、生涯学習の場としても利用します。

- 飛騨の砂守ツアー（砂防の歴史を学びながら砂防施設を巡るツアー）

3）歴史文化に触れるエコツアー

乗鞍岳信仰など、乗鞍岳山麓にて育まれてきた歴史文化の魅力を伝えることで、参加者の地域に対する関心、理解をより深めます。また、地元のガイドの活動によって地域の歴史文化を大切にし、後世へ伝承していくことを目的とします。

a. 乗鞍信仰の歴史や登山道開設の歴史などを学ぶツアー

- 乗鞍信仰ゆかりの地を巡り、乗鞍本宮を目指すツアー
- 登山道が開かれた歴史を学び、石仏を巡って乗鞍岳を目指すツアー
- 旧登山道を辿る登山ツアー

b. 地域のくらしと温泉を巡るツアー

- 平湯温泉街町歩きツアー

(3) 実施される場所

ツアーの実施場所は、高山市全域を対象としますが、乗鞍岳及び周辺地域（奥飛騨温泉郷・上宝エリア、丹生川エリア、朝日・高根エリア）を含むプログラムとします。

(4) プログラムの実施主体

本地域のエコツーリズムでは、前述したように地域の自然を中心に専門のガイドが案内、解説や体験の指導をすることを基本とします。そのため、実施主体はガイドやガイド団体、ガイドを要する組織、ツアー事業者などが主となります。またこれらの自然観光資源は、飛騨山脈ジオパーク構想のジオサイトに指定されているものも多く、ジオツアーとの相互的なツアーの実施も想定します。

3.3 モニタリング及び評価

ツアーで活用されている自然観光資源については、協議会、ツアー実施者、観光関係者、専門家、行政機関等が協働してモニタリングを行い、専門家の指導のもと協議会（年 1 回開催）において評価していきます。また、必要に応じて問題への対策を検討していきます。

(1) モニタリングの対象、方法

乗鞍エリアにおいては、現在も環境省、林野庁、岐阜県及び関係事業者などにより、定期的な見回りや調査が実施され、動植物や登山道の現状把握が行われています。

今後は、それらの情報についても活用しつつ、ツアー実施者等による日常的な観察や、必要に応じた専門家による調査を交え、自然観光資源の状況や課題等について継続したモニタリングを実施していきます。

① 動植物やその生息地・生育地の状況

【実施者】ツアー実施者、専門家、専門機関、行政機関

【主なモニタリング内容】

・動植物の生息状況の変化（種名、場所、変化の状況）
・外来生物の確認（種名、場所、確認状況）
・改変状況（盗掘、伐採、造成、廃棄物の投棄、踏み荒らしなど）
・指標動物の生息数と確認場所
・指標植物の生育数と分布範囲と活力
・写真（確認した指標動物、植物及び定点写真）

② 登山道など地域環境

【実施者】ツアー実施者、土地や施設の管理者

【主なモニタリング内容】

・登山道の状況の変化（場所、変化の状況）
・山小屋等施設の状況の変化（場所、変化の状況）
・案内看板、トイレ、ゴミ箱などの状況の変化（場所、状況の変化）
・その他気づいたこと
・写真（適宜）

③ 地形・地質の状況

【実施者】ツアー実施者、専門家、専門機関、行政機関

【主なモニタリング内容】

・状況の変化（場所、変化の状況）
・その他（アプローチルートの状況等）
・写真（適宜）

④ 自然景観の状況

【実施者】ツアー実施者、行政機関

【主なモニタリング内容】

・自然景観（山岳景観、星空等の景観ポイント）の変化（場所、変化の状況）
・その他（アプローチルートの状況等）
・写真（適宜）

(2) モニタリングに関わる各主体の役割

モニタリングに関わる主体を次の 6 つに区分し、その役割を示します。

各主体	役割
ツアー実施者	エコツアーの際に、自然観光資源の変化や問題点を把握し協議会に報告します。
ツアー参加者	エコツアーに参加している際に、発見した変化や問題点を実施者に知らせてもらいます。
観光関係者等団体	環境の変化や問題点を発見した場合に、速やかに協議会に報告します。
動植物など自然観光資源に関する専門家、専門機関	必要に応じて、動植物の生息・生育地に関する調査を行います。また、ツアー実施者等が行うモニタリング調査の手法や調査結果の評価に関する助言や、必要な対策等に関する提案を行います。
協議会	モニタリングの結果と専門家からの報告をとりまとめ、今後の方向性や改善方法を協議します。
行政	協議会と協力して、自然観光資源保全と活用に向けて必要な取り組みを行います。

(3) 評価の方法

① 評価の視点

モニタリング調査等により確認された情報をもとに、項目ごとに以下の視点から評価及び検討を行います。

・エコツアーの実施が自然観光資源に与えている影響の有無と程度

・自然観光資源を保全、活用していくにあたっての問題点の有無と程度

② 評価の周期

評価は、年に 1 回実施します。

③ 評価を実施する主体

動植物や地質など、項目ごとに専門家が評価し、問題が確認された場合にはその対応方策を検討します。

評価結果について協議会にて確認、承認します。

(4) 専門家や研究者の関与の方法

必要に応じて専門家や研究者による調査を実施し、その調査結果と、実施者から報告されたデータを用いて評価分析を行い、改善方法を提案します。

(5) モニタリング、評価結果への対応

評価結果を受けて、その後のエコツアーの実施内容やルール等へ反映するとともに、必要に応じて自然観光資源の保全や再生の措置について検討し対応を図ります。

a. エコツーリズムに関わるガイド、観光関係者などへの周知と指導

モニタリングの評価結果や問題の有無、改善措置等について、協議会から周知し、ツアーの内容やルール等について改善が必要な内容がある場合には指導を行います。

b. 関係部署との協力による対応検討・実施

自然環境資源の保全、再生のための措置が必要な場合には、関係部署が協力し、対応の検討及び実施に向けた対応を図ります。

c. 特定自然観光資源への指定の検討

モニタリングと評価の結果、自然観光資源を保護するために、利用制限などの措置が必要と判断された資源が生じた場合には、特定自然観光資源への指定を検討します。

3.4 その他

(1) 主な情報提供の方法

乗鞍岳エコツーリズムに関する情報については、多言語表記を行うなどインバウンドにも配慮のうえ、以下の方法などを利用して市の内外に幅広く提供し、情報発信の強化を図ります。積極的な取り組みを行うことによって認知度の向上を図り、ブランド力の向上につなげます。

① 協議会のホームページ

多くの人がスマートフォン等インターネットによる情報に触れる機会が多いため、HP や SNS などを活用し、見やすく利用しやすい情報提供を行います。

② 市広報等、行政機関の広報

本構想策定のお知らせや構想の概要といったエコツーリズムに関する周知だけでなく、必要に応じてエコツアーの紹介なども行います。また、本構想が策定されることにより、

主務省庁による広報（エコツーリズム推進法第 7 条）の効果も期待できます。

③ マスメディアへの情報提供

旅行雑誌や新聞、テレビ等に本地域のエコツーリズムやエコツアーが取り上げられるよう、協議会や観光関係者から積極的に働きかけていきます。また、それぞれの主体においても、マスメディアで取り上げられる機会を増やすためのツアー内容や宣伝方法など研究し情報発信します。

④ 観光関係施設（宿泊施設、販売店、交通機関等）への情報提供

各観光関係施設にも、エコツーリズムやエコツアーについての情報を提供するとともに、理解や協力を得られるよう努めます。チラシやポスターが作成された場合、掲示による協力などを要請していきます。

⑤ 観光関係者のホームページの活用（市、各実施者、観光協会等）

観光関係者などのホームページ等でもエコツーリズムやエコツアーについて取り上げてもらえるよう協力を要請していきます。

⑥ エコツーリズムの取り組みに関するリーフレット等の作成

協議会などで、必要に応じてエコツーリズムやエコツアーに関するリーフレット、チラシ、ポスター等の作成や配布を検討します。作成したツールは、観光関係施設や行政機関にて掲示を行います。

(2) ガイドなどの育成又は研鑽の方法

魅力的なエコツアーの実施や、参加者の満足度が高まるツアーを継続的に実施していくためには、現場で直接参加者と関わるガイドの存在は重要です。

ガイドだけでなくツアー実施者や観光関係者全体で、統一されたエコツアールールや自然観光資源の基本的知識、安全管理、おもてなしの心などを身に着けることによって、ツアー実施者の育成とツアーの質の向上に繋がります。また、地域の自然観光資源を組み合わせ人材をまとめるコーディネーターや、新しいプログラムを生み出し統括するプロデューサーなどを担う、人材の育成も必要となります。

当協議会ではさまざまな人材を育成するため、エコツアー実施の手引書（ガイドマニュアル）を作成するとともに、研修会や講習会、意見交換会の実施等を計画していきます。また、ガイドの登録や認定制度についても検討を行っていきます。

1）エコツアー実施の手引書（ガイドマニュアル）作成

乗鞍岳周辺におけるエコツアーの関係者が統一された知識を身につけるため、以下のような項目を記載したエコツアー実施の手引書（ガイドマニュアル）を作成します。

・乗鞍岳周辺における自然観光資源等の情報
・エコツーリズムの基本方針やルール
・ルールチェックリスト（基本的ガイドルール、自然公園法・条例に則ったルール等）

2）研修会・講習会

ツアー実施者及びガイドの育成に当たり以下の内容に関する研修会・講習会を継続して開催します。

・ガイド技術研修会：ガイドの知識・技術・接客力
・安全管理講習会
・救命救急講習会

3）意見交換会・現地見学会

エコツアー内容の検討や、ツアーの質の向上を目的として各関係者によって以下のような意見交換会や現地見学会を実施します。また、地域関係者などとも連携し、地域住民に向けて地域の自然観光資源に関する情報共有や勉強会を実施します。

・ガイドを含むツアー実施者、観光関係者による情報交換
・地域住民を交えた現地見学会
・専門家や学識経験者による勉強会

4）新規参入事業者への対応

本地域にて新規にエコツアー事業に参入を希望する事業者については、協議会より本構想に記載したルール等の遵守や、研修会、講習会への参加を求めます。ルールを守らない事業者に対しては、協議会にて対策を協議します。

4.自然観光資源の保護及び育成

4.1　利用の制限が必要な自然観光資源（特定自然観光資源）の指定について

乗鞍岳周辺については、ほぼ全域が自然公園法にて中部山岳国立公園内に指定されており、広く特別保護地区や特別地域となっています。自然公園内では、工作物の新・改・増築、木竹の伐採、鉱物の掘採、土石の採取、植物の採取、動物の捕獲などについて既定のランクに合わせて規制がかかっており、基本的に遊歩道外への立ち入りや許可のない改変などを行うことなく、自然環境の保全が図られている状況にあります。

また、乗鞍スカイラインにおけるマイカーの通行規制や、外来植物の駆除活動、岐阜県や林野庁などによる巡回監視、希少な動植物のモニタリング調査や保全活動などが継続して行われてきており、利用を制限する目的で新たに特定自然観光資源を指定する必要性は低い状況にあります。

一方で、かつて利用されていたものの、現在は立ち入りを禁止している「五ノ池周辺」など、貴重な自然環境を保護しながらツアーの実施を検討しているエリアについては、特定自然観光資源への指定について検討を行っていきます。

また、その他の資源についても保護を図る上で、新たに特定自然観光資源への指定が必要と判断される状況が生じた場合には、協議会において検討します。

4.2　その他の自然観光資源の保護及び育成

自然観光資源の価値が損なわれないよう保護及び育成を進めるため、本構想に記載されたルールを関係者が守るよう、協議会が中心となって普及啓発等を進めます。

また、モニタリングを実施し、得られた情報をもとに専門家・研究者が自然観光資源の評価を行います。これらの結果に基づき、より一層の保護や育成などの対策が必要であれば、協議会において対応を検討し、ツアー実施者や関係機関の協力を得て、改善に向けた調整を行います。

4.3　自然観光資源に関係する主な法令及び計画など

自然観光資源に関係する法令や計画を以下に示します。以下に示した法令を遵守し、計画に従い、自然観光資源を保護しながらエコツーリズムを推進していきます。

その他、エコツーリズムの推進にあたって関係する法令、計画等は、6.2　P-54「他の法令や計画等との関係及び整合」に記載します。

表　自然観光資源に関連する法令、計画等

名称	指定内容・対象物	内容	担当部局
自然公園法	中部山岳国立公園	工作物の新改増築、木竹の伐採、植物の採取、鉱物及び土石の採取の禁止等	環境省（中部山岳国立公園管理事務所）、岐阜県
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律	指定種	指定種の捕獲の禁止等	環境省（信越自然環境事務所）
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	野生鳥獣	鳥獣の捕獲の禁止等	環境省（信越自然環境事務所）、岐阜県
森林法	保安林	立木の伐採及び土地の形質の変更（掘削、盛土等）の制限等	林野庁（中部森林管理局、飛騨森林管理署）、岐阜県
国有林野の管理経営に関する法律	国有林	国有林野の適切かつ効率的な管理経営の実施に関する事項（貸付け、売払い等の手続き等）	林野庁（中部森林管理局、飛騨森林管理署）
河川法	河川	土石の採取、竹木の伐採等の禁止	国土交通省、岐阜県
特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律	指定種	外来生物の飼育、栽培、保管、運搬、野に放つこと等の禁止	環境省（信越自然環境事務所）
・文化財保護法 ・岐阜県文化財保護条例 ・高山市文化財保護条例	天然記念物、指定文化財	現状の変更及び保存に影響を及ぼす行為の制限	文化庁、岐阜県教育委員会、高山市教育委員会
岐阜県希少野生動物保護条例	指定種	指定種の捕獲の禁止等	岐阜県
岐阜県立自然公園条例	県立自然公園（野麦峠）	自然の風景地の保護等	岐阜県
岐阜県自然環境保全条例	緑地環境保全地域（千光寺）	自然環境の保全による地域の良好な生活環境の維持	岐阜県
高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森の設置及び管理に関する条例	乗鞍山麓五色ヶ原の森	入山規制、入山時におけるガイドの同伴、一日当たりの最大利用人数の制限、利用料金制等	高山市
「多様な活動の森」における保護、管理及び利用に関する協定書	国有林	多様な活動の森における森林の保護、管理及び利用活動の円滑な実施	高山市、飛騨森林管理署
岐阜県森林づくり基本条例	国有林、民有林	森林の保全と森林づくり、利用の促進等	岐阜県
環境省第二期ライチョウ保護増殖事業実施計画	ライチョウ	ライチョウの保護増殖事業実施計画	環境省（関東地方環境事務所、信越自然環境事務所）

5.推進協議会の参加主体

乗鞍岳エコツーリズムの推進にあたっては、「岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会」内に設置された「乗鞍岳エコツーリズム検討部会」にて協議、活動を行います。

なお、新たに協議会の委員に加える旨の申し入れがあった場合には、協議会の同意を得て委員とする。

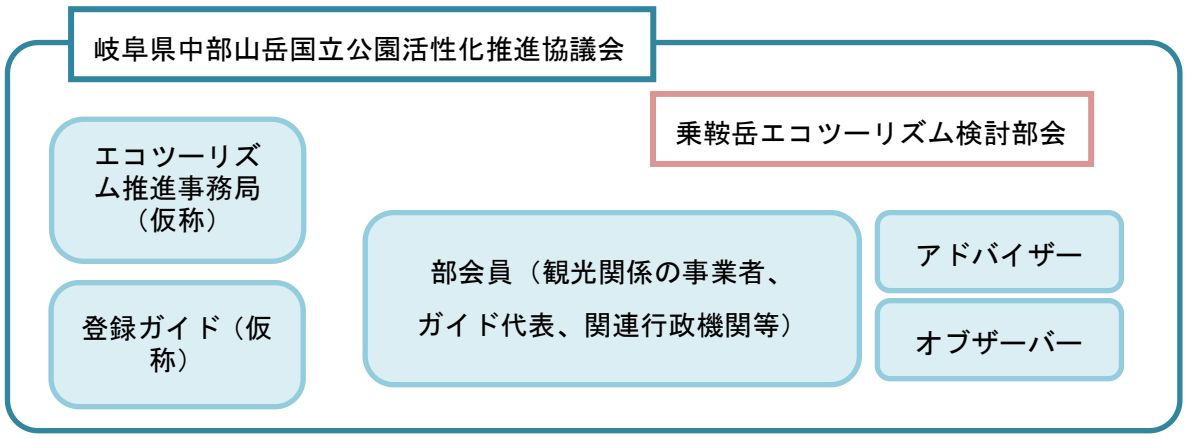

表　乗鞍岳エコツーリズム検討部会に参加する者の名称、その役割分担

【部会員】

構　成		役　割
（一社）飛騨・高山観光コンベンション協会	観光関係事業者・ガイド代表・特定非営利活動法人等	エコツアーの企画、周知、実施にあたっての統括・調整など
（一社）奥飛騨温泉郷観光協会		
飛騨乗鞍観光協会		
乗鞍観光協議会		
（一財）飛騨山脈ジオパーク推進協会		
濃飛乗合自動車（株）		
乗鞍国際観光（株）		
環境省中部山岳国立公園管理事務所	環境省	エコツアーへの協力、情報提供・助言
林野庁飛騨森林管理署	林野庁	
【副部会長】岐阜県環境生活部環境生活政策課自然公園活用推進室	関係行政機関	エコツアーの企画、周知、モニタリング、人材育成などの実施にあたっての統括・調整 エコツアーへの協力、情報提供・助言
岐阜県飛騨県事務所振興防災課		
岐阜県飛騨県事務所環境課		
【部会長】高山市森林・環境政策部環境政策課		
高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課		
高山市丹生川支所		
高山市上宝支所		

【アドバイザー】

参　加　者	役　割
（一社）日本エコツーリズム協会	エコツーリズム推進にあたっての助言・指導
（公財）日本交通公社　観光地域研究部	
岐阜大学地域科学部　教授	

【オブザーバー】

参　加　者	役　割
環境省自然公園指導員	協議会の公平性の調整、助言等

6.その他　乗鞍岳エコツーリズムの推進に必要な事項

6.1　環境教育の場としての活用と普及啓発

乗鞍岳におけるエコツーリズムを進めていくにあたり、地域の子どもたちに環境教育の場を提供していくことは、自然をはじめとする環境の保全に配慮した持続可能な社会を実現するためにも重要な目的の一つとなります。

環境教育には様々な手法がありますが、エコツーリズムでは特に自然とのふれあいを通じ、自然や様々な生命への理解を深めるとともに、それらに対する保全や配慮ができる心を育てる効果が期待されます。また、地域の魅力を知り、地域に誇りをもって暮らし、魅力を語れるようになることで地域の活性化につながることも期待されます。

(1) 案内（ガイダンス）及びプログラムの実施に当たっての留意点

環境教育の場としての活用と普及啓発を図るため、案内及びプログラムの実施に当たっては、次の点に留意します。

①ツアー実施者の環境問題に関する理解促進

ツアー実施者自身が環境問題について正しく理解をしていなければ、参加者へ正しい知識を伝えることができません。そのため、ツアー実施者に対する講習会の開催などにより、環境問題についての理解を深めます。

②参加者に環境問題について考える機会の提供

ツアー参加者には、環境問題のみを伝えるのではなく、地域の暮らしや将来への影響などに触れるなど、問題意識につながるような情報の提供により、参加者に環境問題を考える機会を提供します。

③環境への負荷が低いエコツアー実施による環境保全意識の向上

エコツアーの実施において、ＳＤＧｓの考え方も取り入れ、地域産品の利用やごみの排出抑制など、地球環境への負荷を軽減するとともに、参加者に対してもその取り組みについて説明することで理解を深め、環境保全意識の向上を図ります。

(2) 地域住民に対する普及啓発及び生涯教育

地域の自然観光資源の魅力やその課題（外来種の侵入や、登山道の荒廃）、自然と人の営みの歴史などについて、広く地域で共有し考えていくことは、地域住民の地元愛を育て、結び付きをより深め、地域の発展や貴重な資源を守り伝えていくことに繋がっていきます。

協議会では、地域住民を対象としたエコツアーを企画するとともに、地域住民がボラン

ティア活動や地域環境教育など生涯学習の場として利用できるように企画します。

また、地域外からの参加者向けのエコツアーを実施する際に、エコツアーの運営への協力を求めたり、旅行者と地域住民と接する機会を企画したりするなど、地域におけるエコツアーの普及と発展につなげていきます。

6.2 他の法令や計画等との関係及び整合

乗鞍岳エコツーリズムの推進にあたって関係する法令を遵守し、関連する計画や制度等との整合性を図りながらエコツーリズムを推進します。

(1) 自然観光資源に関係する法令、計画等

- 自然公園法
- 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
- 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
- 森林法
- 国有林野の管理経営に関する法律
- 河川法
- 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
- 文化財保護法
- 岐阜県文化財保護条例
- 高山市文化財保護条例
- 岐阜県希少野生生物保護条例
- 岐阜県立自然公園条例
- 岐阜県森林づくり基本条例
- 岐阜県自然環境保全条例
- 高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森の設置及び管理に関する条例
- 「多様な活動の森」における保護、管理及び利用に関する協定書
- 環境省第二期ライチョウ保護増殖事業実施計画

(2) その他エコツーリズムの推進にあたって関係する法令、計画や制度等

- 岐阜県環境基本条例、計画
- 飛騨山脈ジオパーク構想
- 岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想、計画
- 中部山岳国立公園南部地域管理計画
- 中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム
- 乗鞍自動車利用適正化方針
- 飛騨高山ブランド戦略
- 高山市景観計画
- 高山市環境基本条例、計画
- 高山市緑の基本計画
- 生物多様性ひだたかやま戦略
- 高山市歴史文化基本構想
- 高山市教育振興基本計画
- 高山市産業振興計画
- 飛騨民俗村再整備構想

- 奥飛騨温泉郷国民保養温泉地計画書
- 温泉法

(3) エコツアーの実施に関係する法例等

- 旅行業法
- 旅館業法
- 道路交通法
- 道路運送法

(4) 乗鞍岳エコツーリズムの推進にあたって特に関連性の高い計画等

上記の法令、計画のうち、乗鞍岳エコツーリズムの推進の内容に特に関連性が高い計画、構想を以下に抜粋します。関連する内容については、計画間や関係者間で調整しつつ整合性を図りながらエコツーリズムを推進していきます。例えば関連する団体等とツアー実施で協働するなど、相互的な連携を進めていきます。

- 岐阜県環境基本計画
- 高山市環境基本計画
- 中部山岳国立公園南部地域管理計画（環境省）
- 岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画
- 飛騨山脈ジオパーク構想
- 中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム 2025
- 高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森の設置及び管理に関する条例
- 乗鞍自動車利用適正化方針

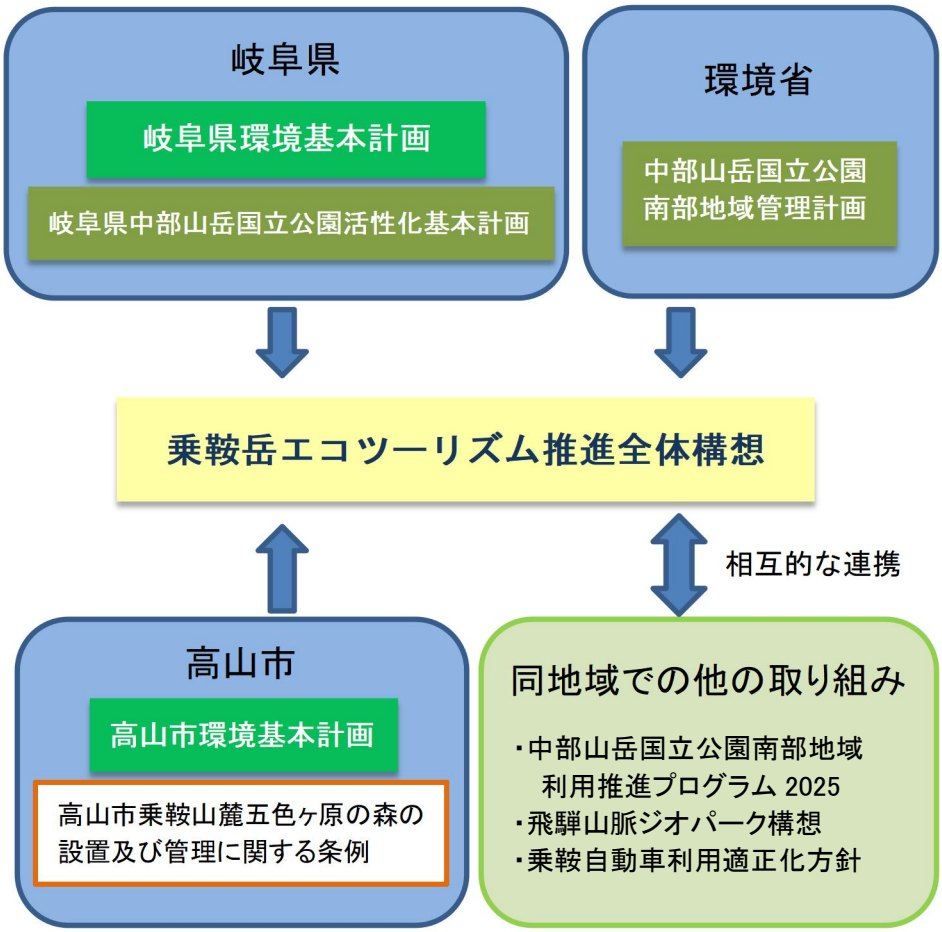

図　乗鞍岳エコツーリズムの推進に関連性の高い計画・構想の関係

表　乗鞍岳エコツーリズムの推進にあたって特に関連性の高い計画等

計画等	関連する主な内容
第６次 岐阜県環境基本計画 （令和３年３月）	P-58　基本施策　３　美しく豊かな環境との共生 （自然公園の保全及び活用） ○　貴重な動植物や優れた山岳景観を有する中部山岳国立公園への国内外からの誘客を 図るため、貴重な自然環境を保全しつつ、魅力の磨き上げや受入環境の整備などに よるエコツーリズムの推進やジオパーク構想の実現に向け、高山市や関係団体と設置した協議会を中心に取組を推進します。 ○　自然公園の優れた風致景観を保護するため、法令に基づき県民や事業者が行う各種 行為の規制を行うとともに、自然保護員を配置し、各圏域の保護体制の確保を図り ます。また、自然公園が安全かつ快適に利用できるよう歩道や防護柵などの計画的な整備・補修に努めます。 （自然とふれあう機会の充実・サステイナブル・ツーリズムの推進） ○　近年の田園回帰志向の拡大や外国人観光客の増加によるグリーン・ツーリズムに対するニーズの多様化に対応するため、「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会と連携してグリーン・ツーリズムを推進します。 ○　温泉地を核に、食・自然・文化・歴史など地域資源を活かした地域活性化と誘客につなげる取組であるＯＮＳＥＮ・ガストロノミーウォーキングの普及・定着を図ります。 ○　仕事と余暇の両立を志向する、新たなライフスタイルとして進展が期待され、また 関係人口の創出にも寄与するワーケーションについて、関係団

	体等と連携して県内 の自然公園、温泉地及び棚田地域等での実現可能性に関し調査・検討を進めます。 P-74　6 地域の特性を踏まえた取組の推進 中山間地域 ・豊かな自然環境を活かした体験学習などを通じ、県民の環境意識の向上を図ります。 ・サステイナブル・ツーリズムなど交流人口の増加に向けた豊かな自然環境の活用を推進 ・豊かな自然を活用した体験型環境学習の実施 山岳地域 ・原生的な自然や優れた自然環境を行為規制等により適正に保全するとともに、生息する野生生物の保護や外来種対策などにより、生物多様性の保全に取り組みます。 ・保全とのバランスを考慮した適正な利用を基本としつつ、登山道の整備など地域の観光振興に資するよう国内外の利用者の受け入れ環境の整備やサステイナブル・ツーリズムの推進に取り組みます。 P-83 7 各主体に期待する取組 3 美しく豊かな環境との共生 ・開発事業等の実施に当たっては、野生動植物の生息・生育環境に配慮するとともに、地域で取り組む野生生物の保全活動(狩猟、ゾーニングなど)へ積極的に協力しましょう。 ・適地適木による更新、適切な間伐の実施など、森林の適正管理に努めましょう。 ・地域の河川や海岸などの維持管理活動や保全活動に積極的に参加しましょう。 ・自然とのふれあいの場やエコツーリズムなどの機会を提供しましょう。
高山市環境基本計画（平成27年3月策定、令和2年3月改訂）	P-5　2．施策の展開 基本政策1　自然環境の保全と活用 1）自然環境の保全 ・適正な宅地開発行為等の推進 ・環境影響評価制度等の適正運用 ・１００年先の森林づくり ・森林の適正管理 ・環境に配慮した河川整備 ・自然災害の防止 2）地域特有の自然資源の保護 ・保存樹・保存林等の保護・保全 ・動植物の保護・保全 ・自然保護意識の高揚 3）希少動植物の保護 ・希少動植物の保護・保全 4）自然公園等の保全と利用の推進 ・自然公園等の適正利用の推進 ・エコツーリズム等の推進 ・白山ユネスコエコパークを活用した取り組みの推進 ・飛騨山脈ジオパーク構想の推進 ・中部山岳国立公園の活性化 基本政策2　自然とふれあう空間の創出 1）緑化の推進と緑化意識の高揚 ・公園や緑地の整備 ・緑地の保全・活用 ・緑化意識の高揚 2）自然と触れ合う場の整備

	・自然公園等の整備 ・森林資源の活用 ・河川環境の活用 3）自然とふれあう機会の創出 森林・河川等を活用したエコツーリズム、山の自然学校や自然観察教室の開催などにより自然とふれあう機会の創出を図ります。 ・エコツーリズム等の推進 乗鞍岳や乗鞍山麓五色ヶ原の森等の自然資源を活用したエコツーリズムを推進することにより、本市の有する豊かな自然や歴史、文化に触れる機会の充実を図ります。 山の恵みに感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐことを目的とした「山の日」等の機会を通じたエコツーリズムの普及を図ります。 ・親水事業の推進 ・山の自然学校や自然観察教室の開催 ・グリーン・ツーリズムの推進 基本政策3　生物多様性の保全 1）その土地本来の生態系の保全 ・野生鳥獣の保護管理の推進 ・特定外来生物防除活動の推進 ・在来種を活かした森づくりや緑化の推進 ・クリーン農業の推進 ・地球温暖化対策の推進 2）里地里山利用の推進 ・里地里山の有効活用 ・荒廃農地、耕作放棄地解消対策の推進 ・グリーン・ツーリズムの推進
中部山岳国立公園南部地域管理計画書（平成25年2月）	P-22　6．エコツーリズム推進 当地域は山岳や高原等多様な自然環境を有する一方、都市圏からのアクセスも良く、利用者が多いことから、エコツーリズムを推進することが望まれます。自然観光資源の保護とエコツーリズム推進のためエコツーリズム推進法に基づく協議会の立ち上げを目指します。 （1）ソフト面による推進 エコツアーの提供 乗鞍山麓の五色ヶ原の森において自然解説活動、環境教育プログラム等のエコツアーが行われていることから、これらを継続していくとともに、その他の地域でより多くの主体によるエコツアーの実施を促進します。また、ツアーの質の向上を図るため、自然を保全しつつ持続的に活用する手法や仕組みについて検討します。 （2）ハード面による推進 ①ビジターセンター等の整備 ビジターセンター等の展示物を通して利用者へ情報を提供します。 ②解説標識の設置 特徴的な自然環境等について解説した標識の整備及び維持管理を行い、利用者へ情報を提供します。
中部山岳国立公園活性化基本計画（平成30年1月）	P-7　第4章　具体的な施策 （1）　全体像 【コンセプト】 誰でも体験できる3,000m級の高山帯、飛騨人（ひだびと）のもてなしと露天風呂めぐり 【方針1】豊かな地域資源を「知る」 1-1 豊かな地域の魅力を知り、誇りを醸成 ・豊かな自然を知り、誇りを醸成する経験機会の創出 ・飛騨山脈ジオパーク構想の取組推進 1-2 飛騨山脈の「大地と自然の恵み」を学ぶ

	・大学や研究機関との連携交流の推進 ・環境教育の推進 【方針 2】強みを活かし魅力・活力を「創る」 2-1 乗鞍・奥飛騨の魅力の発掘・磨き上げ・発信 ・魅力ある体験プログラムの造成 ・ＯＮＳＥＮ・ガストロノミーツーリズムの推進 ・誰でも容易に到達できる日本最高所の進化 ・最先端の情報技術を活用したアプリケーションの開発研究 ・温泉地の賑わいづくり ・安全・安心な登山環境づくり ・景観の改善の検討 ・二次交通の充実 2-2 持続的な活力の創出 ・高山市街地と国立公園のシームレス化 ・人材の交流、活躍の場づくり 【方針 3】乗鞍・奥飛騨らしさを守り、後世に「伝える」 3-1 自然の保護と利用の両立 ・総合的な利用拠点（ビジターセンター）の整備 ・乗鞍岳の環境保全対策の進化 ・快適な自然公園施設の整備 3-2 乗鞍・奥飛騨の魅力を守り伝える人づくり ・質の高いガイド人材の育成 ・参加型の環境保全・登山道整備の推進
飛騨山脈ジオパーク構想	・飛騨山脈ジオパーク構想では、飛騨山脈の高山市エリア(丹生川町・上宝町・奥飛騨温泉郷)の見どころとなる場所をジオサイトに指定し、教育やジオツアーなどの観光活動に活かし、地域の素晴らしさを知ってもらう活動をしています。 ･ジオパークへの取り組みをきっかけとして､｢愛する地域に住み続けたい・守りたい・伝えたい」という思いを形とし､｢若者が地域に魅力を感じ、地域に誇りを持ち、地域に住み続けることができる、持続可能な地域」を目指します。
中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム 2025 （令和 3 年 3 月）	P-55　6）乗鞍岳 Ⅰ重点取り組み項目 ・乗鞍岳ルートの統一プロモーション ・飛騨山脈ジオパーク構想の推進 ・利用者負担の仕組みづくり ・上質なエコツーリズムの推進 　乗鞍岳の自然資源を活用したガイドプログラム、自然観察教室、写真コンテスト等の実施を通じ、上質なエコツーリズムを推進する。これにあたり乗鞍岳におけるエコツーリズム推進構想を策定し、計画的な利用推進を進める。 ・乗鞍岳を中心とした自転車利用の適正化の推進 　乗鞍岳を中心としたエリアにおける適正な自転車利用の推進のために、ルールの策定、普及啓発に取り組む。
高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森の設置及び管理に関する条例 （平成 17 年 2 月）	歩道や山小屋などの施設整備時における自然への配慮、入山規制、入山時におけるガイドの同伴、一日当たりの最大利用人数の制限、利用料金制等を規定
乗鞍自動車	1.　乗鞍スカイラインにおけるマイカー規制の実施

利用適正化方針（R3～5）	2. 広報計画 3. 自然保護の推進 4. 環境への配慮 5. 地域（観光）振興 6. マイカー規制実施方法等の見直し

6.3 農林水産業や土地の所有者等との連携及び調和

(1) 農林水産業などとの連携方策

ツアー実施者は、高地栽培野菜などの農業体験、飛騨牛の畜産業体験など、農林水産業体験を含めたエコツアープログラム造成に努めます。地域の特産品のブランド力向上に貢献することにより、地域の農林水産業の発展が期待できます。

(2) 土地所有者等への配慮事項

協議会は、エコツアーで利用する土地の所有者（管理者：林野庁や環境省など）を明確にし、土地所有者（管理者）の理解を得たうえでツアーを実施します。また、登山道の管理者を明確にし、登山道の維持管理等に努めます。

ツアー実施者や参加者は、他人の所有地や農地、林地への無断立ち入りはしないよう注意します。登山道や散策路では決められたコースを外れないよう注意します。また、河川で魚類の観察をする場合なども、漁協などの関係団体へ事前に相談のうえ、漁業権などのルールに従って利用します。

6.4 地域振興への貢献

(1) 地域における特産物の活用

ツアー実施者は、本地域及び周辺地域で産出される農林水産物（宿儺（すくな）かぼちゃ、久手大根、トマト、ほうれん草、飛騨ねぎ、飛騨牛など）のツアーへの活用を図ります。また、参加者の飲食やお土産購入に地元産品を勧めるよう心がけます。ツアーで使用する商品や飲食物などを地域の特産品や地元資本の事業者が作ったものなどを積極的に利用することで、地域の振興につながり、関係者からの理解や協力もより得られます。

またツアー実施者はその商品の歴史や成り立ち、良さなど、その商品の魅力を参加者に伝えることで、参加者がよく理解し気に入った上で購入することができるため、参加者の満足度の向上と、商品の人気化につながることが期待されます。

(2) 滞在日数増加のための取り組み

滞在日数が増えることが地域振興に繋がることから、協議会は、利用者が通過型ではなく滞在型の利用につながるような取り組みを進めます。実施される滞在型エコツアーの情

報、宿の情報提供を積極的に行います。宿～乗鞍岳などアクセスの良さや、宿泊利用・連泊利用のメリットが利用者に伝わるよう、P-46 で示したような情報発信に努めます。

(3) リピーターを増やすための取り組み

ツアー実施者は、利用者の興味や目的に合わせた丁寧なガイドを行うことにより利用者の満足度を高めるように努めます。そして、利用者に季節による魅力の違い、当該ツアーで紹介できなかった別の魅力的な自然観光資源やツアープログラム、宿泊する温泉地の違いなどの情報提供を積極的に行うことで、参加者が本地域を再訪するよう働きかけます。

(4) 周辺地域との連携

協議会は、ツアーで利用する高山駅～乗鞍岳までの経路にあたる地域住民に対して、エコツーリズムへの理解と協力のための情報発信、説明会等を行います。説明会等はすでに街づくりで活動している団体（丹生川まちづくり協議会、平湯まちづくり委員会など）を通じて行い、エコツーリズムを通じた地域の活性化につなげます。

6.5 地域の生活や習わしへの配慮

協議会をはじめとする関係者は、エコツーリズムが地域住民の生活文化・伝統文化に影響を与えないように配慮します。地域住民の理解を得られるように努力し、さまざまな意見に対しても真摯に耳を傾け、エコツーリズムが地域に貢献できるよう努めます。

6.6 安全管理

エコツアー実施中の安全確保のために、以下の対策を実施します。

また、エコツアー実施の手引書（ガイドマニュアル）に安全管理のルールを記載し、ツアー実施者に周知します。ツアー実施者を対象とした救急救命講習も実施します。

- ツアー実施者は、保険に加入し、保障内容を参加者に事前に明示するとともに、緊急時の連絡先や対応を明確にします。
- ツアー実施者は、事前に下見をして、ツアー中に発生する可能性がある危険を把握し、必要に応じて危険箇所を回避するルート変更を行います。また、ツアー開始前や実施中には、発生する可能性がある危険を参加者に説明し、注意を喚起するとともに、必要な資材を準備し、ツアー中の参加者の安全を確保します。参加者は実施者の注意にしたがって行動します。
- ツアー実施者は、ツアー中のけがや虫刺されなどに備え、救急医療品を用意します。
- ツアー実施者は、ツアー時に緊急連絡先をすぐに確認できるよう準備しておきます。

6.7　活動の拠点となる施設の活用

整備を進めている（仮称）奥飛騨ビジターセンターを、乗鞍岳エコツーリズムの活動の拠点として活用する予定です。乗鞍岳周辺の自然観光資源の情報や、エコツアーの実施情報、ガイドの情報などを、掲示物やパンフレット等で紹介します。エコツアーの実施状況の写真や利用者の感想を掲示するなど、エコツアーの魅力が伝わる工夫を行い、エコツアー利用者の増加につなげます。

6.8　県域を越えた広域的な連携

本地域は長野県松本市と隣接しており、乗鞍岳への入山ルートも長野県側と二分されていることから、環境省主導のもと岐阜県と長野県の関係自治体で取り組んでいる「中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム 2025」などを通して、広域的な連携を図りながら検討を進めていきます。

6.9　全体構想の公表・見直し

(1) 全体構想の公表

全体構想の策定、変更・廃止を行ったときは、市 HP や広報紙等で周知を行います。また、必要に応じてリーフレット等を作成・配布し、広く周知する方法も検討します。

(2) 全体構想の見直し

エコツーリズムの実施状況を毎年点検・共有し、課題や対策について整理しつつ、概ね５年ごとを目途に構想全体の見直しを行います。